

2019 年度港区立男女平等参画センター リーブラ助成事業（ジャンプ）

# ダイバーシティ認知と理解に関する調査 報告書

2019 年 10 月 11 日

NPO 法人 GEWEL



自分らしさと違いを活かしあう社会へ



## 目次

はじめに .....	3
1. 調査概要 .....	4
2. 調査結果のまとめ .....	5
3. 【港区】在住者の回答傾向 .....	6
4. GEWEL からの提言 .....	7
5. 調査結果 .....	8
回答者のプロフィール.....	8
性別 .....	8
年代 .....	9
居住地域 .....	10
婚姻 .....	11
職業分類 .....	12
属性一覧表 .....	13
性別／年齢階層／婚姻／職業分類 .....	13
都道府県 .....	14
Q1. 用語の認知.....	15
Q1-1 ダイバーシティ .....	16
Q1-2 インクルージョン .....	16
Q1-3 D&I.....	17
Q1-4 SDGs.....	17
Q1-5 SOGI .....	18
Q1-6 LGBT .....	18
Q1-7 ユニバーサルデザイン .....	19
Q1-8 インクルーシブ教育.....	19

Q1-9 ポジティブ・アクション .....	20
Q1-10 クォータ制.....	20
Q2. あなた自身の考えや経験に当てはまる程度 .....	21
Q2-1 私には、外国籍の親しい友人がいる .....	21
Q2-2 私には、さまざまな世代の親しい友人がいる.....	21
Q2-3 私は、心身に障がいのある人と一緒に教育を受けたり、働いたことがある .....	22
Q2-4 私は、性的少数者*からカミングアウトされるほうである .....	22
Q2-5 私は今までに、ダイバーシティ研修のような教育を受けたことがある .....	23
Q2-6 家庭、学校、職場、地域社会など、どの場においても私の個性は尊重されている.....	23
Q2-7 性別や学歴、障がいのある・なし等によって、私が偏見をもち、誰かを差別することはない	24
Q2-8 私は、男性が外で働き、女性が家庭を守るほうが、社会がうまく回ると思う.....	24
Q2-9 私は、多様性より従来の画一性を重視する教育のほうが日本人には合うと思う .....	25
Q2-10 お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりに、私なりに取り組んでいる .....	25
Q3. あなたの考え（自由回答）の頻出語関連図 .....	26
6. 性年代別クロス集計表【全国】 .....	28
7. 自由記述（ランダム抜粋） .....	43
男性 20 代以下 .....	43
男性 30 代 .....	44
男性 40 代 .....	45
男性 50 代 .....	46
男性 60 代 .....	47
男性 70 代以上 .....	48
女性 20 代以下 .....	49
女性 30 代 .....	50
女性 40 代 .....	51
女性 50 代 .....	52
女性 60 代 .....	53
女性 70 代以上 .....	54
付録：調査票.....	55

## はじめに

### 〔調査の背景〕

近年、ダイバーシティ（多様性）、女性活躍、働き方改革のキーワードは毎日のようにメディアで発信されるようになりました。2013年：内閣府や経産省によるダイバーシティ経営の牽引、2016年：女性活躍推進法、2018年：政治分野の候補者男女均等法の影響により、競争戦略としての男女均等が大企業を中心とする組織で定着しつつあります。

一方、リーダー層を育てることだけが男女平等推進のように誤解されることも増え、働く男女の平等推進が広く一般語として流布されているとは言い難い状況が見え隠れしています。

そこで今般、これらの語句（ダイバーシティ、女性活躍など）の認知浸透および理解の状況を調査分析することで、真のダイバーシティや男女平等参画について理解するきっかけをつくりたいと考えました。本調査研究は、**2019年度港区立男女平等参画センター リーブラ助成事業（ジャンプ）**の助成を受け、全国の一般市民を対象とした「男女平等参画を含むダイバーシティ関連語句の認知と理解」に関するオンラインアンケート調査（一部、質問紙調査）により実施されました。

### 〔本調査に関するお問い合わせ〕

NPO 法人 GEWEL（ジュエル）

〒141-0001 東京都品川区北品川 5-5-15 大崎ブライトコア 4 階 SHIP

URL: <http://www.gewel.org>

E-mail: [office@gewel.org](mailto:office@gewel.org)

### 〔NPO 法人 GEWEL について〕

#### ◇ ビジョン Vision

多様な個性をもつ一人ひとりが、自分らしさを発揮し、違いを活かして成長しあえる社会を目指します

#### ◇ ミッション Mission

私たちはダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の意義を広め、理解を深められる場をつくり、一人ひとりが実践できる社会創造に貢献します

#### ◇ 事業内容 Diversity & Inclusion の周知と理解のために

◎ 普及啓発：D&I 理解促進／女性リーダー育成研修／管理職の意識啓発／推進担当者の育成

◎ 調査研究：企業からの受託調査／自主企画調査（働く女性の意識調査／D&I 推進の実態調査）

◎ 体験共有：経験談共有／異文化体験／リーダー体験

## 1. 調査概要

調査名：多様性のある社会づくりのための基礎調査

本調査は、以下の2種類の母集団形成により実施した。

調査A：全国規模の無作為抽出法によるオンライン調査

有効回答数	全国	港区	合計
	9,663	202	9,865
母集団	性年代・居住地を考慮した層化無作為抽出		
調査対象者	インターネットリサーチモニター		
調査方法	オンライン調査		
実施期間	2019年6月20日(木)～8月20日(火)		
調査実施者	NPO法人GEWEL		

調査Aでは、全国の一般市民の用語認知・理解の実態について明らかにすることを目的とした。報告書は、調査Aの結果を中心にまとめる。

調査B：協力機関の呼びかけによるオンライン調査・質問紙調査

有効回答数	907
母集団	GEWEL、男女平等参画センターほか、ダイバーシティ推進諸団体・企業・大学の呼びかけにより形成
調査対象者	上記の呼びかけに協力してくれた者
調査方法	オンライン調査
実施期間	2019年6月20日(木)～8月20日(火)
調査実施者	NPO法人GEWEL

調査Bは、ダイバーシティ推進活動に関心が高い協力者からの回答に偏ることが想定されたが、調査A（一般市民の回答傾向）と認知・理解の程度を比較するための参考データにすることを目的とした。調査Bの結果は参考としてまとめる。

## 2. 調査結果のまとめ

オンラインで実施した「社会づくりのための基礎調査」に、【全国】9,663名のインターネットモニターから有効回答を得た。回答者のプロフィールは、性別、年代構成、および居住地分布が日本の人口動態とほぼ同率となっている。また、今回の調査では、会社員・役員の割合が全体の約3割であった。

### 1) ダイバーシティ関連用語の認知

【全国】90%以上 「まったく知らない」：「D&I」、「SOGI」

【全国】80%以上            "            ：「SDGs」、「インクルーシブ教育」

【全国】70%以上            "            ：「インクルージョン」

【全国】60%以上            "            ：「ポジティブ・アクション」

【全国】30%以上 「何となく理解している(説明できる人もいる)」：「ダイバーシティ」

【全国】50%以上            "            ：「LGBT」、「ユニバーサルデザイン」

- ◇ 「ダイバーシティ」という用語の認知は進みつつあると推測されるが、2019年夏の調査時点において、【全国】一般市民の6割が「まったく知らない」と「見聞きしたことはあるが意味はわからない」と回答。
- ◇ 【港区】在住者の用語認知率は、【全国】一般市民の平均と比較してやや高めの傾向。
- ◇ 【全国】一般市民や【港区】一般在住者と比べ、【参考】としたダイバーシティ推進活動の関係者が多数回答した調査Bでは、用語の認知率が圧倒的に高値を示した。
- ◇ 用語の認知率は【全国】一般市民の性年代においても差異がみられ、女性よりは男性、年代は若い層のほうが有意に高い認知率であった。

### 2) あなた自身の考えや経験に当てはまる程度

- ◇ 外国人の親しい友人、ダイバーシティ研修経験は、【全国】約5割が「まったくない」と回答。
- ◇ 性別役割分業意識や多様性教育についての考えは、【全国】一般市民と【参考】としたダイバーシティ推進活動の関係者の意識差が特に大きい。前者は「どちらともいえない」の割合が高率。
- ◇ 20代男女の回答が、30代より上の年代層の回答傾向と特に違いが大きい。教育の変化による影響の可能性も示唆される。

### 3) お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりの推進活動についての意見

- ◇ 推進活動を積極的に行うべきという賛成意見が総論として多数であった。
- ◇ 子どもの教育、日本の学校教育の中で多様性の尊重を扱うべきとの意見が多く挙げられた。
- ◇ 時代の流れとして自然なこと、との指摘が多数あり、その一方で推進活動のあり方や変化に対する不安や難しさの声も寄せられた。

### 3. 【港区】在住者の回答傾向

オンラインで実施した「社会づくりのための基礎調査」に、【港区】在住の 202 名のインターネットモニターから有効回答を得た。【港区】在住者の年齢階層は、【全国】の一般市民と比べ 40 代・50 代が 6 割と多めであった。その他の回答者プロフィールには大きな差はみられない。

#### 1) ダイバーシティ関連用語の認知

- ◇ 質問項目として用意した 10 の用語すべてにおいて、【全国】と比べ【港区】は、その用語を「説明できる」と回答した人の割合が多く、認知率は高めの傾向にあった。
- ◇ 一方で、「ユニバーサルデザイン」、「ポジティブ・アクション」、「クオータ制」については、「まったく知らない」と回答した【港区】の割合が【全国】より多かった。
- ◇ 「ダイバーシティ」という用語の認知について、「用語の意味を説明できる」に 4 点、「用語の意味を何となく理解している」に 3 点、「用語を見聞きしたことはあるが、意味はよくわからない」に 2 点、「まったく知らない」に 1 点を得点付けし、回答者の平均値を都道府県別に算出した。【港区】は (2.76) であり、全国 1 位の東京を上回る結果であった。

※【全国】の「ダイバーシティ」認知の平均値 TOP10

1 位：東京 (2.60)、2 位：山梨 (2.46)、3 位：千葉 (2.43) 沖縄 (2.42)、神奈川 (2.41)、茨城 (2.35)、滋賀 (2.33)、新潟 (2.32)、宮城 (2.31)、埼玉 (2.30)

#### 2) あなた自身の考えや経験に当てはまる程度

- ◇ 「私には、外国籍の親しい友人がいる」、「私は今までに、ダイバーシティ研修のような教育を受けたことがある」との質問項目では特に、【全国】と比べ【港区】は「当てはまる」とする傾向の回答比率が高く、外国人の居住や企業が多い港区の地域特性を反映した結果であると推測された。
- ◇ 「私は、男性が外で働き、女性が家庭を守るほうが、社会がうまく回ると思う」という質問項目において、「まったく当てはまらない」と回答する【港区】在住者は【全国】より高い割合を示した。
- ◇ しかし一方で、上記の質問に対し「とても当てはまる」と回答した、性別役割分業意識が高い回答者の比率は【全国】と比べ【港区】のほうが多かった。これらの回答者プロフィールを確認すると、40 代・50 代の男性に多いという傾向がみられた。

#### 3) お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりの推進活動についての意見

- ◇ 総論として、良いと思うという意見が多数であった。
- ◇ 自由記述の頻出語において、「多様-受け入れる」、「多様-尊重」というワードが挙げられた。これは【全国】や【参考】とする回答者の頻出語には含まれていなかった。



## 4. GEWEL からの提言

企業組織および企業人を対象としたダイバーシティ認知度調査は過去にも存在していましたが、広く一般に調査したものは見当たりませんでした（GEWEL 調べ）。本調査は、日本で最初の本格的な「ダイバーシティ関連語句の認知と理解」に関する調査として実施されました。

企業の競争戦略に限定せず、多様性を包摂する風土が、港区および日本国内にどれほど浸透しているのかを客観的に示すことで、男女平等参画、多様な働き方および生き方、外国人や障がい者など、多岐にわたる接点から多様性の意識啓発につながることを期待されます。

本調査の結果、「ダイバーシティ」という言葉の認知は、歴史のある「ユニバーサルデザイン」や昨今ブームとなっている「LGBT」ほどの浸透には至っていませんでしたが、その他の関連用語より、用語の説明ができる・用語の意味を何となく理解している人の割合が多い傾向にありました。また自由記述では、時代の流れの中で多様性の尊重、理解、受容が求められていることを指摘する意見が多く挙がりました。

これらのことから、今後、「ダイバーシティ&インクルージョン」の認知は拡大に向かうことが必然のように思います。しかし、私たちダイバーシティ&インクルージョンの推進に関わっている人とそうではない人の認知や理解の差異、また推進活動への温度差はかなりの開きがあることが明確になりました。関係者の間では、D&I が社会に徐々に浸透しているように認識していても、実際に「D&I」は 9 割が、そして関係者であっても 5 割の方が「まったく知らない」という状況もみえました。

自由記述では、総論として多様性を活かしあう活動推進に賛成多数という結果でしたが、今回の調査では「どちらともいえない」層の割合もかなりの数にのぼりました。この「どちらともいえない」層や「無関心」層の実態まで、今回の調査では把握することができませんでした。

用語の認知度についても、さらに思考や行動についても、一度の調査で終わってはその変化を確認することができません。したがって、今後、全国規模で行政や学校、企業と連携して、定点観測できる調査を継続実施することで、ダイバーシティ推進活動による変化を捉えることを GEWEL から提案します。

GEWEL では 2004 年から 2017 年まで「働く女性の意識調査」として、働く女性を対象に女性活躍とダイバーシティについての調査を行ってきました。それらと共通の調査項目を設定することで、10 年前、15 年前の傾向との比較も可能になります。

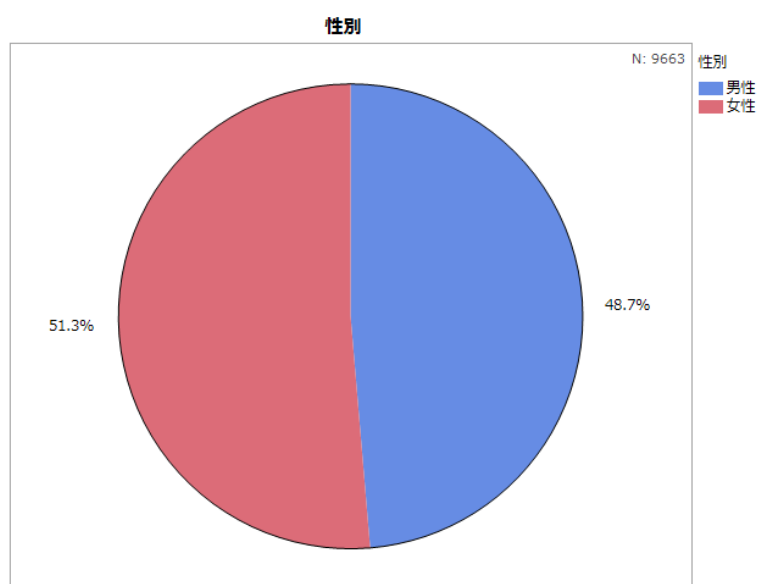
GEWEL がこれまで中心にしてきた企業との取り組みだけでなく、調査結果からも要請のあった教育や地域におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進活動にも範囲を広げ、これからも持続性のある豊かな社会づくりに貢献できればと思います。

## 5. 調査結果

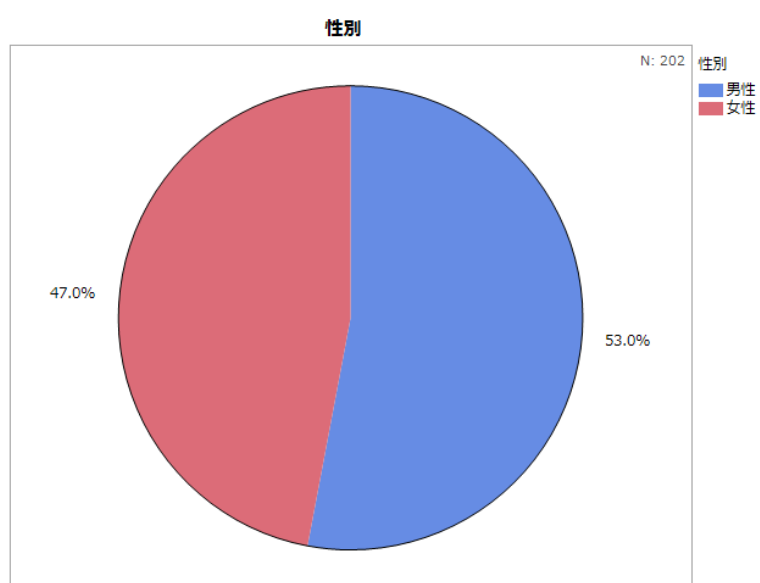
### 回答者のプロフィール

#### 性別

##### 【全国】

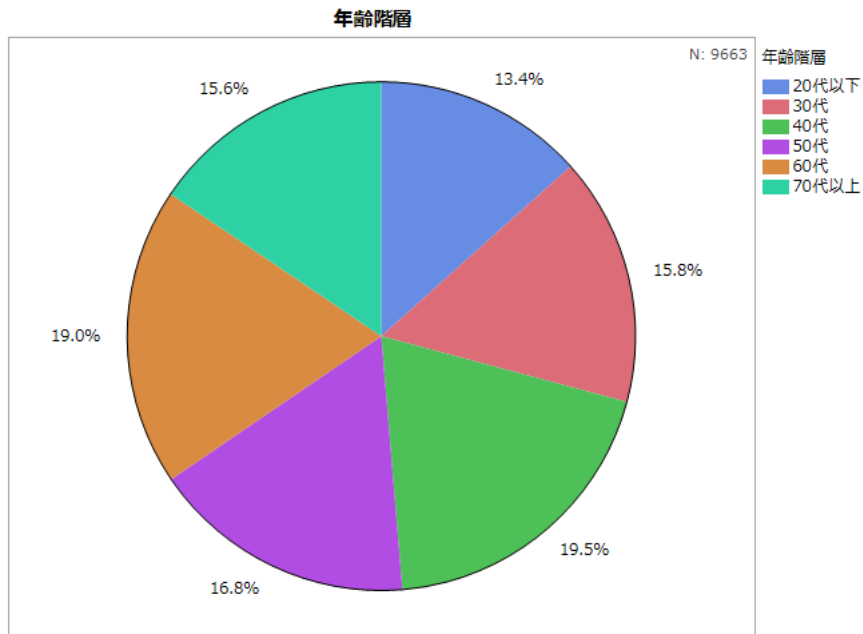


##### 【港区】

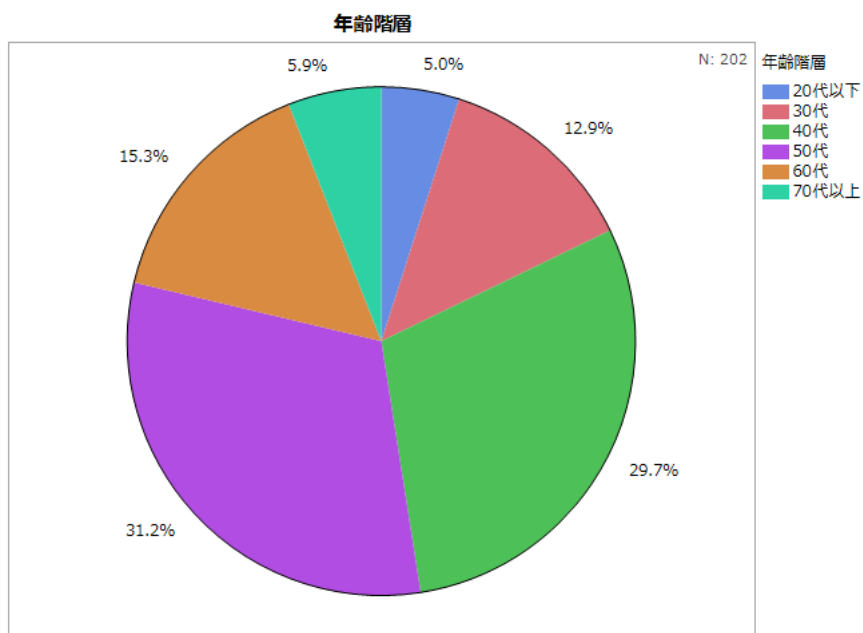


## 年代

## 【全国】

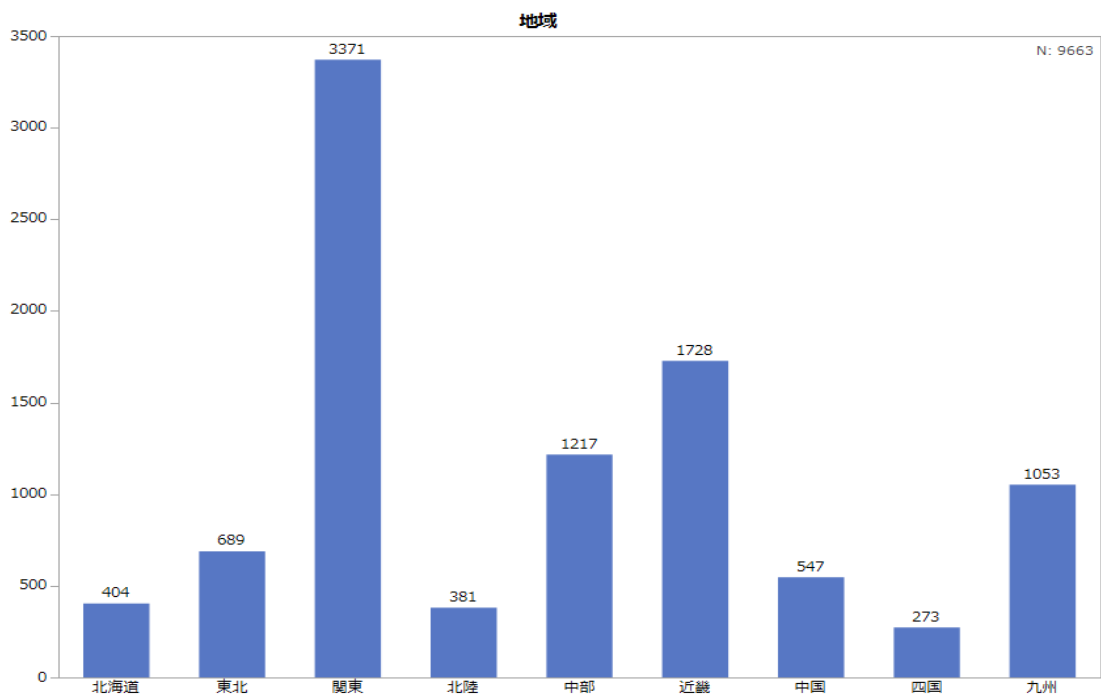
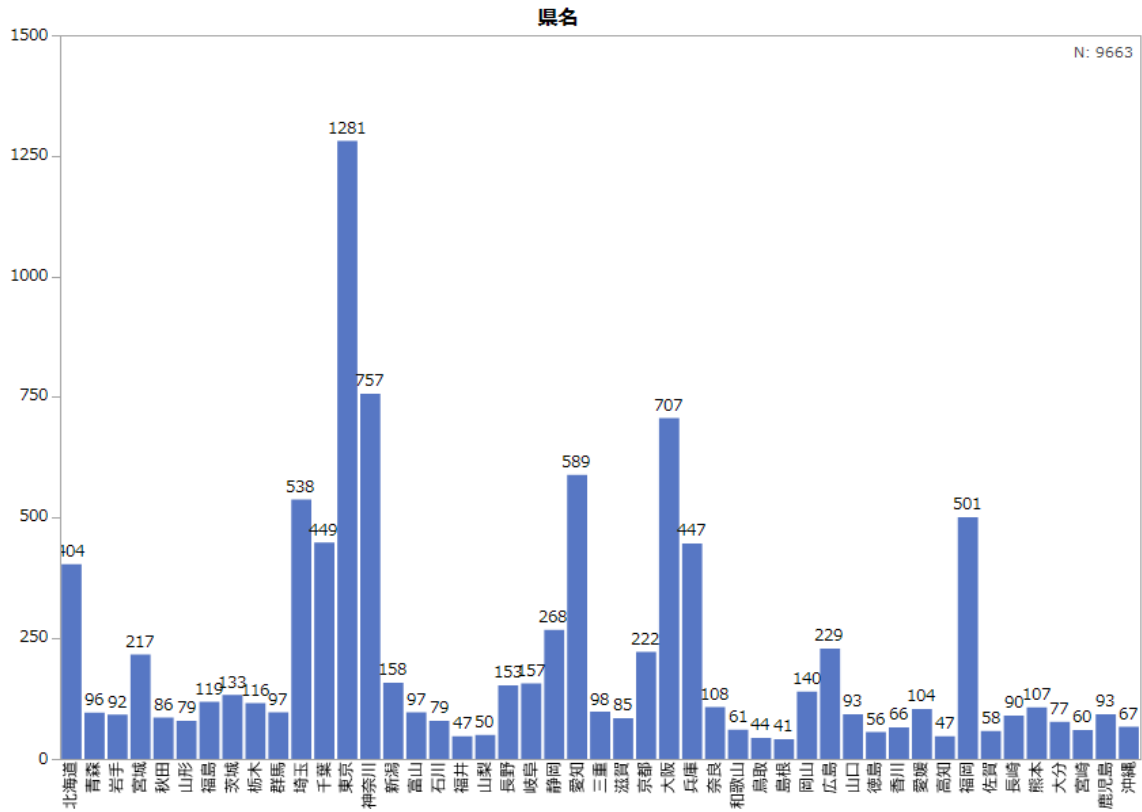


## 【港区】



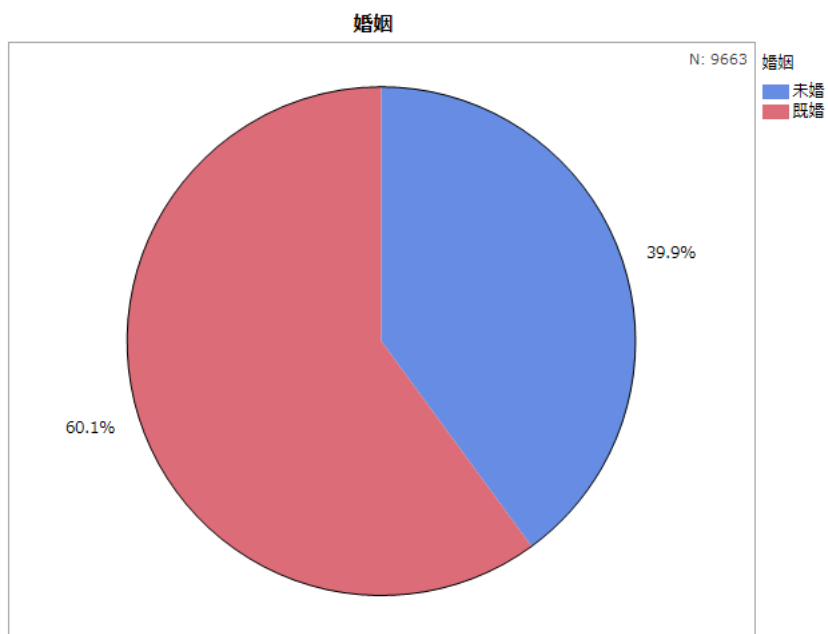
## 居住地域

【全国】都道府県／地域

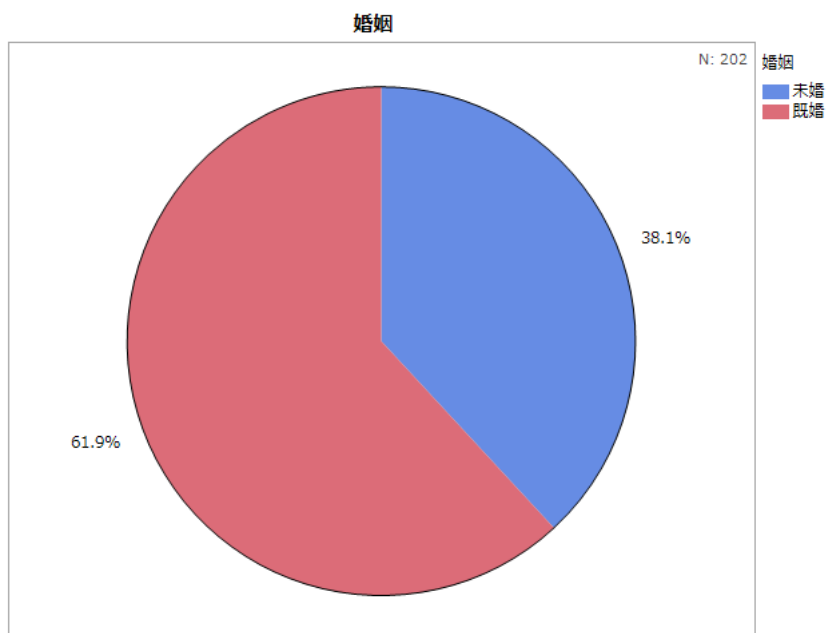


## 婚姻

【全国】

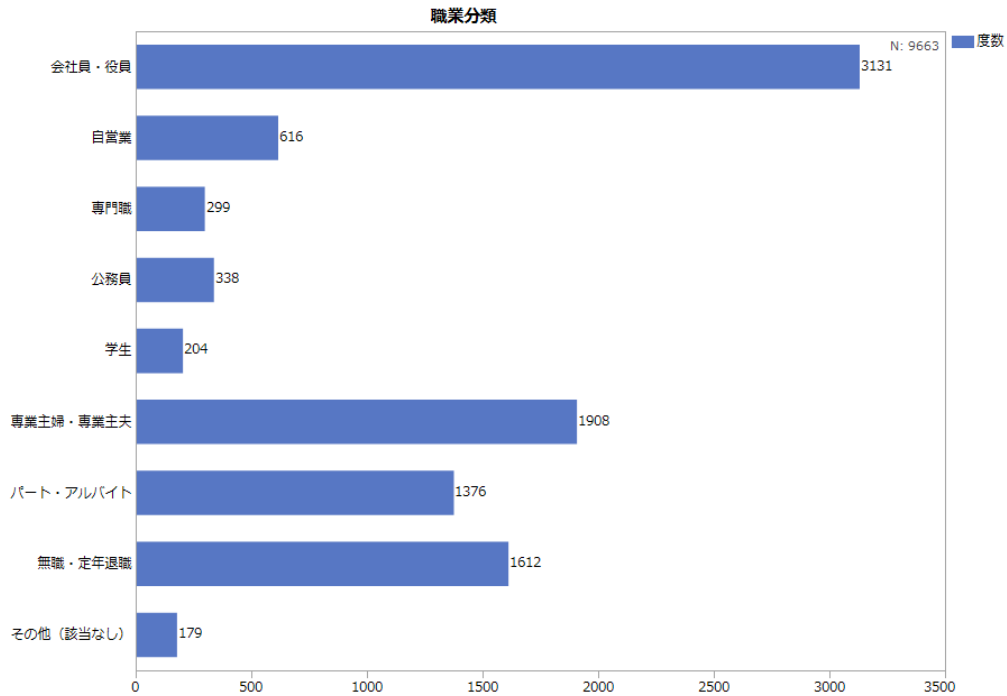


【港区】

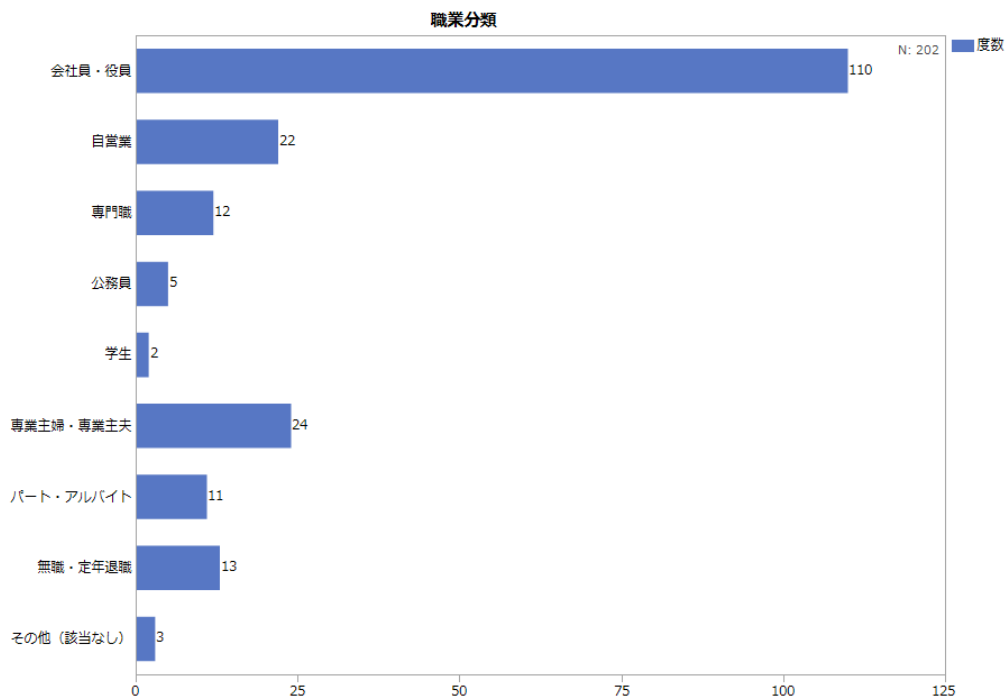


## 職業分類

### 【全国】



### 【港区】



## 属性一覧表

### 性別／年齢階層／婚姻／職業分類

	フラグ							
	全国		港区		参考		すべて	
性別	N	列%	N	列%	N	列%	N	列%
男性	4702	48.66%	107	52.97%	305	33.63%	5114	47.47%
女性	4961	51.34%	95	47.03%	591	65.16%	5647	52.42%
不明	0	0.00%	0	0.00%	1	0.11%	1	0.01%
その他（該当なし）	0	0.00%	0	0.00%	10	1.10%	10	0.09%
すべて	9663	100.00%	202	100.00%	907	100.00%	10772	100.00%
<b>年齢階層</b>								
20代以下	1292	13.37%	10	4.95%	106	11.69%	1408	13.07%
30代	1526	15.79%	26	12.87%	181	19.96%	1733	16.09%
40代	1886	19.52%	60	29.70%	341	37.60%	2287	21.23%
50代	1624	16.81%	63	31.19%	236	26.02%	1923	17.85%
60代	1832	18.96%	31	15.35%	34	3.75%	1897	17.61%
70代以上	1503	15.55%	12	5.94%	9	0.99%	1524	14.15%
すべて	9663	100.00%	202	100.00%	907	100.00%	10772	100.00%
<b>婚姻</b>								
未婚	3859	39.94%	77	38.12%	325	35.83%	4261	39.56%
既婚	5804	60.06%	125	61.88%	582	64.17%	6511	60.44%
すべて	9663	100.00%	202	100.00%	907	100.00%	10772	100.00%
<b>職業分類</b>								
会社員・役員	3131	32.40%	110	54.46%	504	55.57%	3745	34.77%
自営業	616	6.37%	22	10.89%	105	11.58%	743	6.90%
専門職	299	3.09%	12	5.94%	62	6.84%	373	3.46%
公務員	338	3.50%	5	2.48%	49	5.40%	392	3.64%
学生	204	2.11%	2	0.99%	87	9.59%	293	2.72%
専業主婦・専業主夫	1908	19.75%	24	11.88%	20	2.21%	1952	18.12%
パート・アルバイト	1376	14.24%	11	5.45%	32	3.53%	1419	13.17%
無職・定年退職	1612	16.68%	13	6.44%	19	2.09%	1644	15.26%
その他（該当なし）	179	1.85%	3	1.49%	29	3.20%	211	1.96%
すべて	9663	100.00%	202	100.00%	907	100.00%	10772	100.00%

## 都道府県

県名	フラグ							
	全国		港区		参考		すべて	
	N	列%	N	列%	N	列%	N	列%
北海道	404	4.18%	0	0.00%	13	1.43%	417	3.87%
青森	96	0.99%	0	0.00%	23	2.54%	119	1.10%
岩手	92	0.95%	0	0.00%	1	0.11%	93	0.86%
宮城	217	2.25%	0	0.00%	3	0.33%	220	2.04%
秋田	86	0.89%	0	0.00%	2	0.22%	88	0.82%
山形	79	0.82%	0	0.00%	1	0.11%	80	0.74%
福島	119	1.23%	0	0.00%	1	0.11%	120	1.11%
茨城	133	1.38%	0	0.00%	6	0.66%	139	1.29%
栃木	116	1.20%	0	0.00%	6	0.66%	122	1.13%
群馬	97	1.00%	0	0.00%	3	0.33%	100	0.93%
埼玉	538	5.57%	0	0.00%	72	7.94%	610	5.66%
千葉	449	4.65%	0	0.00%	55	6.06%	504	4.68%
東京	1281	13.26%	202	100.00%	366	40.35%	1849	17.16%
神奈川	757	7.83%	0	0.00%	141	15.55%	898	8.34%
新潟	158	1.64%	0	0.00%	3	0.33%	161	1.49%
富山	97	1.00%	0	0.00%	2	0.22%	99	0.92%
石川	79	0.82%	0	0.00%	2	0.22%	81	0.75%
福井	47	0.49%	0	0.00%	1	0.11%	48	0.45%
山梨	50	0.52%	0	0.00%	2	0.22%	52	0.48%
長野	153	1.58%	0	0.00%	6	0.66%	159	1.48%
岐阜	157	1.62%	0	0.00%	2	0.22%	159	1.48%
静岡	268	2.77%	0	0.00%	9	0.99%	277	2.57%
愛知	589	6.10%	0	0.00%	25	2.76%	614	5.70%
三重	98	1.01%	0	0.00%	4	0.44%	102	0.95%
滋賀	85	0.88%	0	0.00%	3	0.33%	88	0.82%
京都	222	2.30%	0	0.00%	12	1.32%	234	2.17%
大阪	707	7.32%	0	0.00%	26	2.87%	733	6.80%
兵庫	447	4.63%	0	0.00%	25	2.76%	472	4.38%
奈良	108	1.12%	0	0.00%	1	0.11%	109	1.01%
和歌山	61	0.63%	0	0.00%	0	0.00%	61	0.57%
鳥取	44	0.46%	0	0.00%	1	0.11%	45	0.42%
島根	41	0.42%	0	0.00%	0	0.00%	41	0.38%
岡山	140	1.45%	0	0.00%	1	0.11%	141	1.31%
広島	229	2.37%	0	0.00%	2	0.22%	231	2.14%
山口	93	0.96%	0	0.00%	0	0.00%	93	0.86%
徳島	56	0.58%	0	0.00%	2	0.22%	58	0.54%
香川	66	0.68%	0	0.00%	1	0.11%	67	0.62%
愛媛	104	1.08%	0	0.00%	3	0.33%	107	0.99%
高知	47	0.49%	0	0.00%	1	0.11%	48	0.45%
福岡	501	5.18%	0	0.00%	38	4.19%	539	5.00%
佐賀	58	0.60%	0	0.00%	1	0.11%	59	0.55%
長崎	90	0.93%	0	0.00%	2	0.22%	92	0.85%
熊本	107	1.11%	0	0.00%	7	0.77%	114	1.06%
大分	77	0.80%	0	0.00%	0	0.00%	77	0.71%
宮崎	60	0.62%	0	0.00%	2	0.22%	62	0.58%
鹿児島	93	0.96%	0	0.00%	2	0.22%	95	0.88%
沖縄	67	0.69%	0	0.00%	6	0.66%	73	0.68%
不明	0	0.00%	0	0.00%	2	0.22%	2	0.02%
その他（該当なし）	0	0.00%	0	0.00%	20	2.21%	20	0.19%
すべて	9663	100.00%	202	100.00%	907	100.00%	10772	100.00%



## Q1. 用語の認知

Q1-1～10 までの用語の意味をどの程度知っているか、4 段階の選択肢で回答を求めた。

1. 用語の意味を説明できる 2. 用語の意味を何となく理解している 3. 用語を見聞きしたことはるが、意味はよくわからない 4. まったく知らない

〔結果の見方〕

各項目において、【全国】、【港区】、【参考】の回答者の回答傾向を表とシェアチャートで示している。




【全国】：全国の一般市民（インターネットリサーチモニター）9,663 名の回答傾向

【港区】：港区在住の一般市民（インターネットリサーチモニター）202 名の回答傾向

【参考】：GEWEL 他、D&I 推進活動関係者からの呼びかけにより集まった 907 名の回答傾向

度数		Q1-1【ダイバーシティ】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	1398 14.5%	2245 23.2%	3433 35.5%	2587 26.8%	9663
	港区	65 32.2%	53 26.2%	54 26.7%	30 14.9%	202
	参考	645 71.1%	212 23.4%	38 4.2%	12 1.3%	907




シェアチャート		Q1-1【ダイバーシティ】				
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国					9663
	港区					202
	参考					907

### Q1-1 ダイバーシティ

参考としたダイバーシティ推進活動関係者の7割が「ダイバーシティ」の意味を説明できるのに対し、全国の一般市民で説明できるのは15%程度。港区民はその倍の3割程度が説明できると回答。

度数		Q1-1【ダイバーシティ】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	1398 14.5%	2245 23.2%	3433 35.5%	2587 26.8%	9663
	港区	65 32.2%	53 26.2%	54 26.7%	30 14.9%	202
	参考	645 71.1%	212 23.4%	38 4.2%	12 1.3%	907




シェアチャート		Q1-1【ダイバーシティ】				
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国					9663
	港区					202
	参考					907

### Q1-2 インクルージョン

「インクルージョン」をまったく知らない人の割合は75%にのぼる。

度数		Q1-2【インクルージョン】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	332 3.4%	628 6.5%	1311 13.6%	7392 76.5%	9663
	港区	13 6.4%	18 8.9%	21 10.4%	150 74.3%	202
	参考	364 40.1%	223 24.6%	169 18.6%	151 16.6%	907

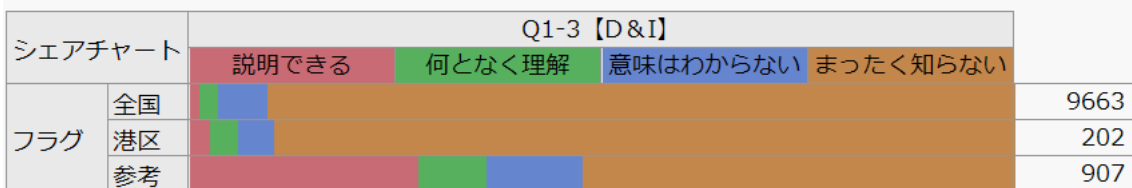
  

シェアチャート		Q1-2【インクルージョン】				
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国					9663
	港区					202
	参考					907

### Q1-3 D&I

「D&I」をまったく知らない人の割合は約 9 割。

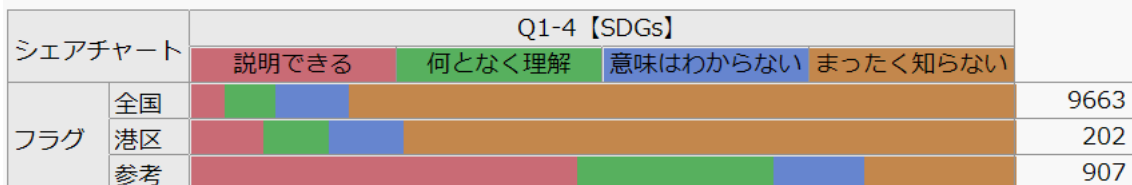
度数		Q1-3 【D&I】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	130 1.3%	210 2.2%	581 6.0%	8742 90.5%	9663
	港区	5 2.5%	7 3.5%	9 4.5%	181 89.6%	202
	参考	252 27.8%	75 8.3%	105 11.6%	475 52.4%	907



### Q1-4 SDGs

「SDGs」は全国の一般市民の 8 割がまったく知らないと回答。

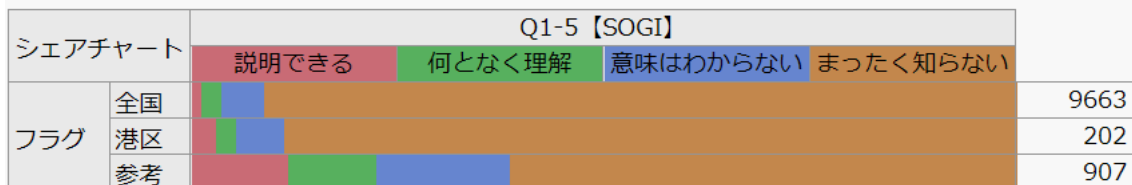
度数		Q1-4 【SDGs】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	400 4.1%	601 6.2%	856 8.9%	7806 80.8%	9663
	港区	18 8.9%	16 7.9%	18 8.9%	150 74.3%	202
	参考	426 47.0%	216 23.8%	99 10.9%	166 18.3%	907



### Q1-5 SOGI

「SOGI」は、全国の一般市民の回答の 9 割がまったく知らない。参考としたダイバーシティ推進活動の関係者も 6 割がまったく知らないと回答。

度数		Q1-5 【SOGI】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	118 1.2%	236 2.4%	502 5.2%	8807 91.1%	9663
	港区	6 3.0%	5 2.5%	12 5.9%	179 88.6%	202
	参考	106 11.7%	98 10.8%	147 16.2%	556 61.3%	907

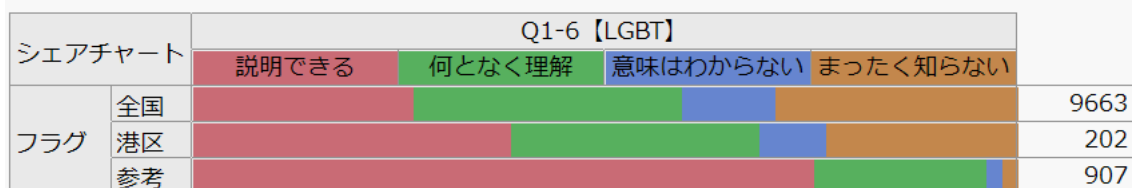


### Q1-6 LGBT

「LGBT」をまったく知らない層は全国の一般市民の回答の 3 割。

「SOGI」と比較すると「LGBT」の用語認知は進んでいるといえる。全国の一般市民と比べ、「LGBT」の用語説明までできる港区民の割合が多い。

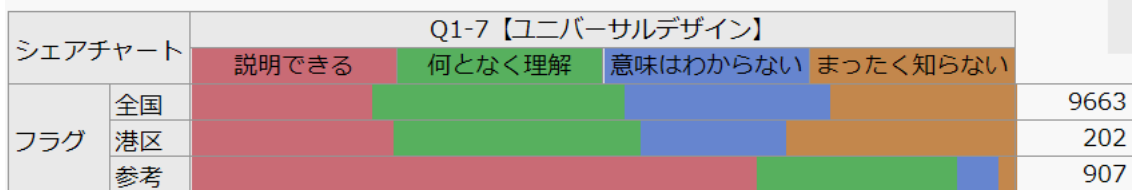
度数		Q1-6 【LGBT】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	2600 26.9%	3129 32.4%	1105 11.4%	2829 29.3%	9663
	港区	78 38.6%	61 30.2%	16 7.9%	47 23.3%	202
	参考	684 75.4%	189 20.8%	17 1.9%	17 1.9%	907



### Q1-7 ユニバーサルデザイン

「ユニバーサルデザイン」は、一般市民の約半数が、説明できる・何となく理解していると回答。

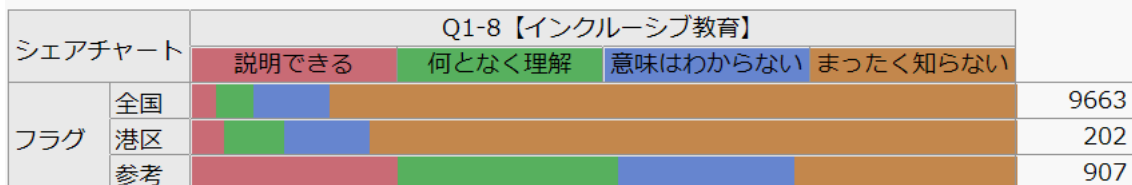
度数		Q1-7【ユニバーサルデザイン】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	2120 21.9%	2960 30.6%	2421 25.1%	2162 22.4%	9663
	港区	50 24.8%	60 29.7%	36 17.8%	56 27.7%	202
	参考	621 68.5%	220 24.3%	48 5.3%	18 2.0%	907



### Q1-8 インクルーシブ教育

「インクルーシブ教育」は、全国の一般市民の約 8 割がまったく知らないと回答。

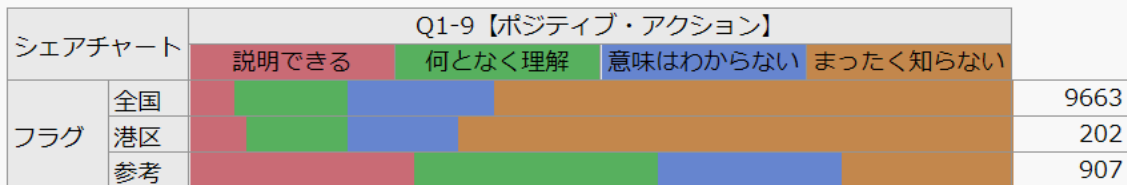
度数		Q1-8【インクルーシブ教育】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	296 3.1%	438 4.5%	885 9.2%	8044 83.2%	9663
	港区	8 4.0%	15 7.4%	21 10.4%	158 78.2%	202
	参考	228 25.1%	241 26.6%	194 21.4%	244 26.9%	907



### Q1-9 ポジティブ・アクション

「ポジティブ・アクション」は、何となく理解している割合が 10%を超えるが、まったく知らない割合は約 65%に上り、認知はあまり進んでいない。

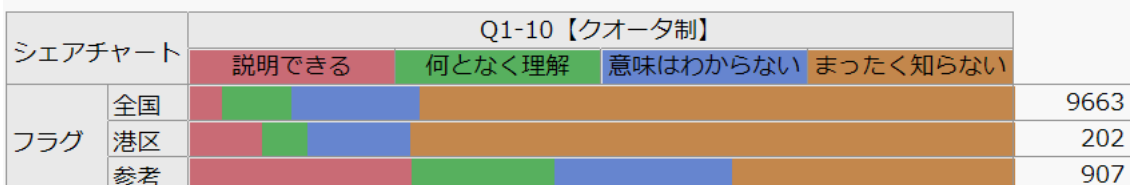
度数		Q1-9【ポジティブ・アクション】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	523 5.4%	1340 13.9%	1714 17.7%	6086 63.0%	9663
	港区	14 6.9%	25 12.4%	27 13.4%	136 67.3%	202
	参考	248 27.3%	269 29.7%	202 22.3%	188 20.7%	907



### Q1-10 クォータ制

「クォータ制」は、まったく知らない割合が約 7割。ダイバーシティ推進活動の関係者の約 35%もまったく知らないと回答。

度数		Q1-10【クォータ制】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
フラグ	全国	393 4.1%	807 8.4%	1506 15.6%	6957 72.0%	9663
	港区	18 8.9%	11 5.4%	25 12.4%	148 73.3%	202
	参考	245 27.0%	157 17.3%	196 21.6%	309 34.1%	907

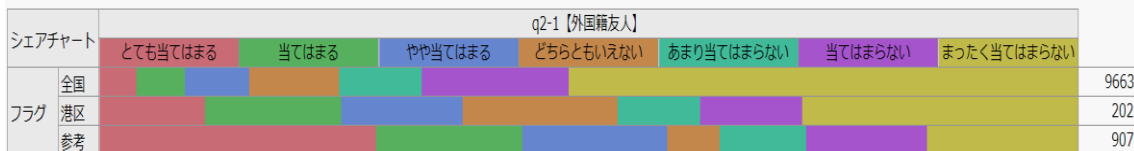


## Q2. あなた自身の考えや経験に当てはまる程度

### Q2-1 私には、外国籍の親しい友人がいる

全国の一般市民の約半数が、外国人の親しい友人はまったくいないと回答。

度数		q2-1【外国籍友人】							
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない	応答の合計数	
フラグ	全国	373	475	638	884	817	1442	5034	9663
		3.9%	4.9%	6.6%	9.1%	8.5%	14.9%	52.1%	
	港区	22	28	25	32	17	21	57	202
		10.9%	13.9%	12.4%	15.8%	8.4%	10.4%	28.2%	
	参考	257	135	134	49	80	112	140	907
		28.3%	14.9%	14.8%	5.4%	8.8%	12.3%	15.4%	

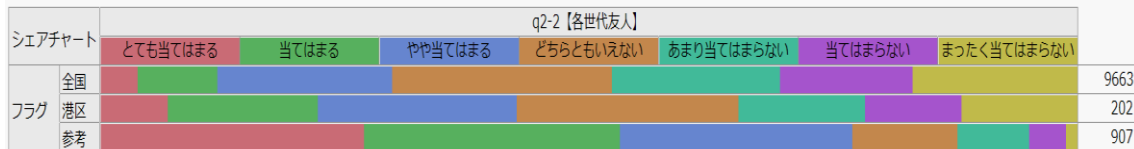


### Q2-2 私には、さまざまな世代の親しい友人がいる

世代を超えた友人関係に関する回答には、ばらつきがみられる。

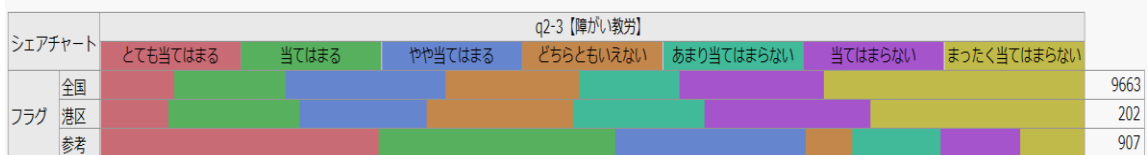
参考としたダイバーシティ推進活動の関係者は、さまざまな世代の友人が多い傾向にある。

度数		q2-2【各世代友人】							
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない	応答の合計数	
フラグ	全国	374	784	1729	2174	1657	1313	1632	9663
		3.9%	8.1%	17.9%	22.5%	17.1%	13.6%	16.9%	
	港区	14	31	41	46	26	20	24	202
		6.9%	15.3%	20.3%	22.8%	12.9%	9.9%	11.9%	
	参考	245	237	216	98	66	34	11	907
		27.0%	26.1%	23.8%	10.8%	7.3%	3.7%	1.2%	



Q2-3 私は、心身に障がいのある人と一緒に教育を受けたり、働いたことがある  
 回答にばらつきはみられるが、心身に障がいのある人と一緒に受ける教育や労働の経験は、全国の一般市民の約半数が当てはまらない傾向にある。

度数		q2-3【障がい教養】							応答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
フラグ	全国	730	1088	1571	1310	987	1417	2560	9663
		7.6%	11.3%	16.3%	13.6%	10.2%	14.7%	26.5%	
	港区	14	27	26	30	27	34	44	202
	6.9%	13.4%	12.9%	14.9%	13.4%	16.8%	21.8%		
参考	257	218	175	43	81	74	59	907	
	28.3%	24.0%	19.3%	4.7%	8.9%	8.2%	6.5%		

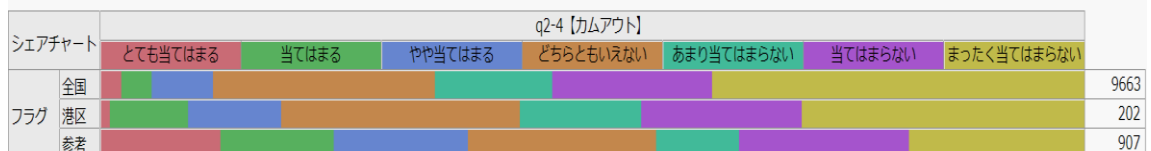


Q2-4 私は、性的少数者\*からカミングアウトされるほうである

\*たとえば、同性が好きの人や自分の性に違和感を覚える人など

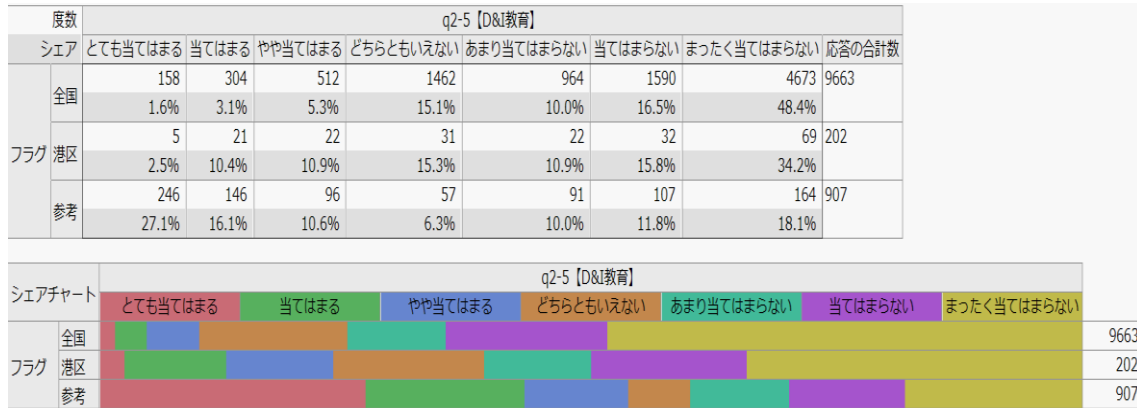
全国の一般市民の5~10%、港区民の10~20%の人はどちらかといえば、カミングアウトされる傾向に当てはまると回答。

度数		q2-4【カムアウト】							応答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
フラグ	全国	202	298	610	2171	1149	1570	3663	9663
		2.1%	3.1%	6.3%	22.5%	11.9%	16.2%	37.9%	
	港区	2	16	19	49	25	33	58	202
	1.0%	7.9%	9.4%	24.3%	12.4%	16.3%	28.7%		
参考	110	105	124	173	77	156	162	907	
	12.1%	11.6%	13.7%	19.1%	8.5%	17.2%	17.9%		

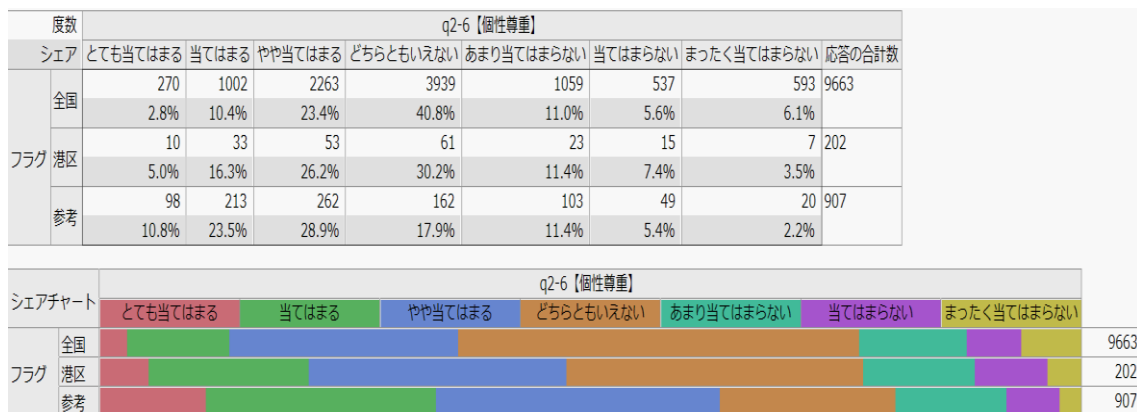




Q2-5 私は今までに、ダイバーシティ研修のような教育を受けたことがある  
 全国の傾向と比べ、港区民はダイバーシティ教育の機会を得ている割合が多めの傾向にある。

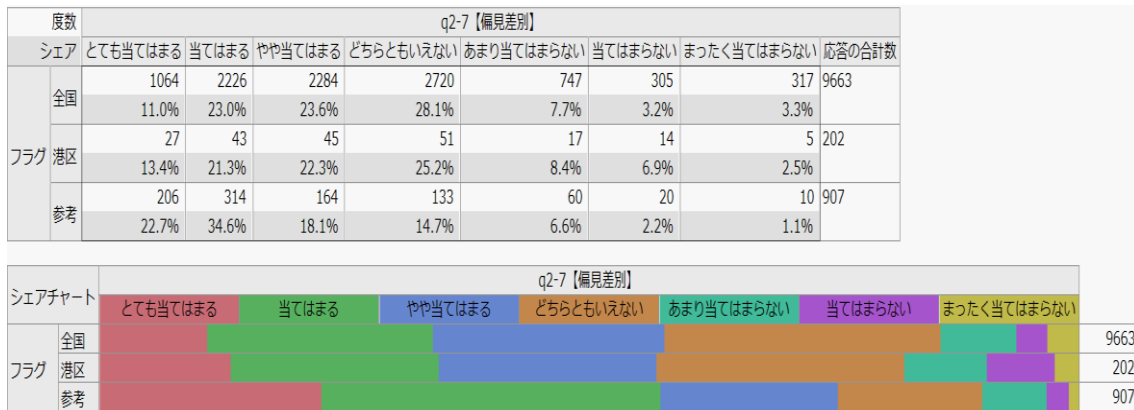


Q2-6 家庭、学校、職場、地域社会など、どの場においても私の個性は尊重されている  
 全国の一般市民の回答の 4 割が「どちらともいえない」である。このことから、家庭、学校、職場、地域社会などの場によって、尊重される程度に差異があると推測される。



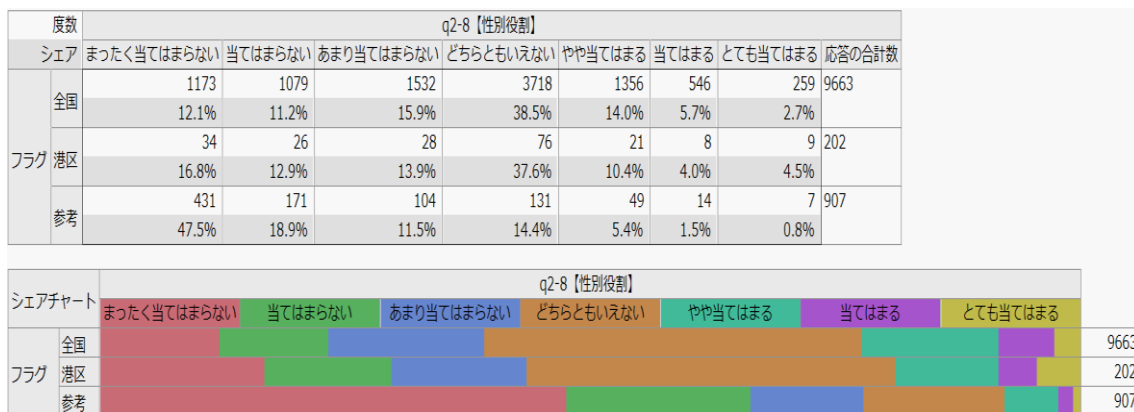
Q2-7 性別や学歴、障がいのある・なし等によって、私が偏見をもち、誰かを差別することはない

この質問項目では、社会的に好ましい回答が多いと考えられる。無意識に行ってしまう差別の程度とこの回答傾向には関連がないと考えられる。



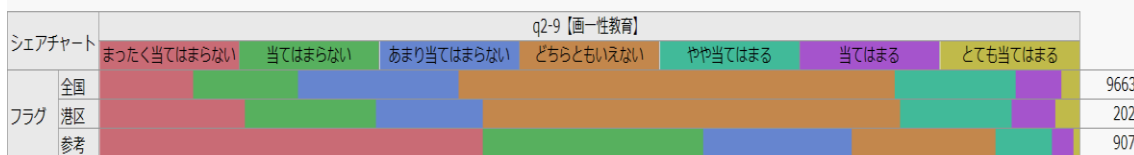
Q2-8 私は、男性が外で働き、女性が家庭を守るほうが、社会がうまく回ると思う

参考としたダイバーシティ推進活動の関係者の約半数がまったく当てはまらないと回答してるが、全国の一般市民の回答にはばらつきがみられる。



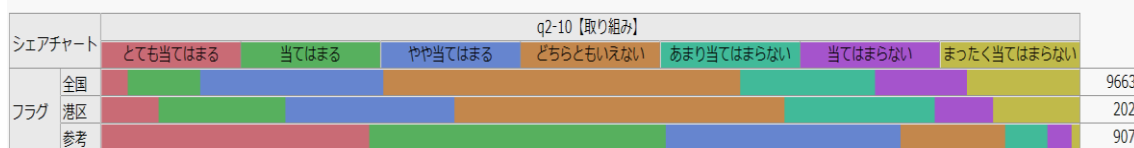
Q2-9 私は、多様性より従来の画一性を重視する教育のほうが日本人には合うと思う  
 全国の一般市民の回答の約 2 割が画一性より多様性を重視する回答傾向である。  
 どちらともいえない層が全体の 4 割でやや多いといえる。

度数		q2-9【画一性教育】							回答の合計数
シェア	まったく当てはまらない	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	やや当てはまる	当てはまる	とても当てはまる		
フラグ	全国	932	1033	1578	4293	1192	456	179	9663
		9.6%	10.7%	16.3%	44.4%	12.3%	4.7%	1.9%	
	港区	30	27	22	86	23	9	5	202
		14.9%	13.4%	10.9%	42.6%	11.4%	4.5%	2.5%	
	参考	355	204	137	133	52	20	6	907
		39.1%	22.5%	15.1%	14.7%	5.7%	2.2%	0.7%	



Q2-10 お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりに、私なりに取り組んでいる  
 参考としたダイバーシティ推進活動の関係者は、7 割の人が何か少しでも取り組みを行っている。一般市民で何か取り組みを行っている人は全体の 3 割。

度数		q2-10【取り組み】							回答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
フラグ	全国	268	709	1807	3531	1324	909	1115	9663
		2.8%	7.3%	18.7%	36.5%	13.7%	9.4%	11.5%	
	港区	12	26	35	68	31	12	18	202
		5.9%	12.9%	17.3%	33.7%	15.3%	5.9%	8.9%	
	参考	248	275	218	97	39	22	8	907
		27.3%	30.3%	24.0%	10.7%	4.3%	2.4%	0.9%	





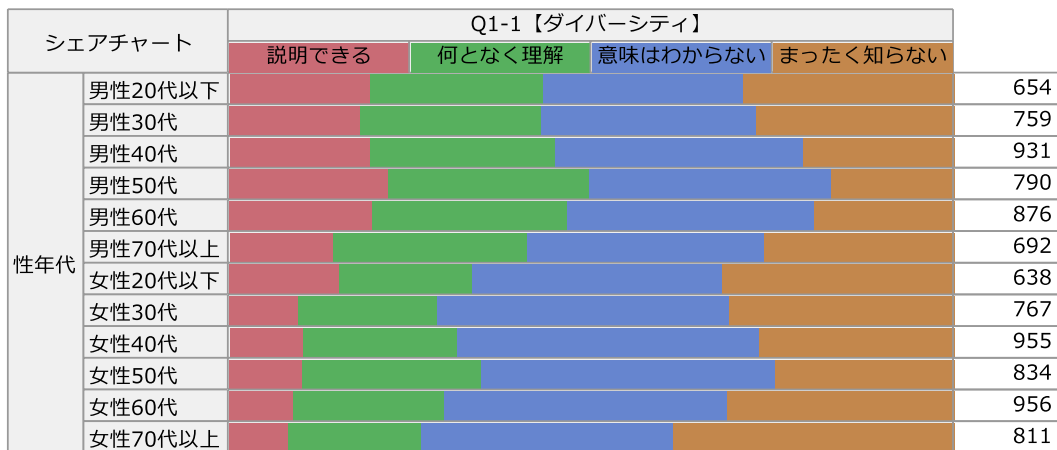


## 6. 性年代別クロス集計表【全国】

性年代別クロス集計表は、母集団人数の多い【全国】のみ結果を示す。

Responses( Q1-1【ダイバーシティ】 ) By 性年代

度数		Q1-1【ダイバーシティ】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	128 19.6%	156 23.9%	181 27.7%	189 28.9%	654
	男性30代	138 18.2%	189 24.9%	225 29.6%	207 27.3%	759
	男性40代	181 19.4%	239 25.7%	318 34.2%	193 20.7%	931
	男性50代	173 21.9%	220 27.8%	263 33.3%	134 17.0%	790
	男性60代	173 19.7%	236 26.9%	299 34.1%	168 19.2%	876
	男性70代以上	100 14.5%	184 26.6%	228 32.9%	180 26.0%	692
	女性20代以下	97 15.2%	118 18.5%	219 34.3%	204 32.0%	638
	女性30代	74 9.6%	146 19.0%	310 40.4%	237 30.9%	767
	女性40代	99 10.4%	202 21.2%	397 41.6%	257 26.9%	955
	女性50代	85 10.2%	206 24.7%	337 40.4%	206 24.7%	834
	女性60代	84 8.8%	200 20.9%	373 39.0%	299 31.3%	956
	女性70代以上	66 8.1%	149 18.4%	283 34.9%	313 38.6%	811



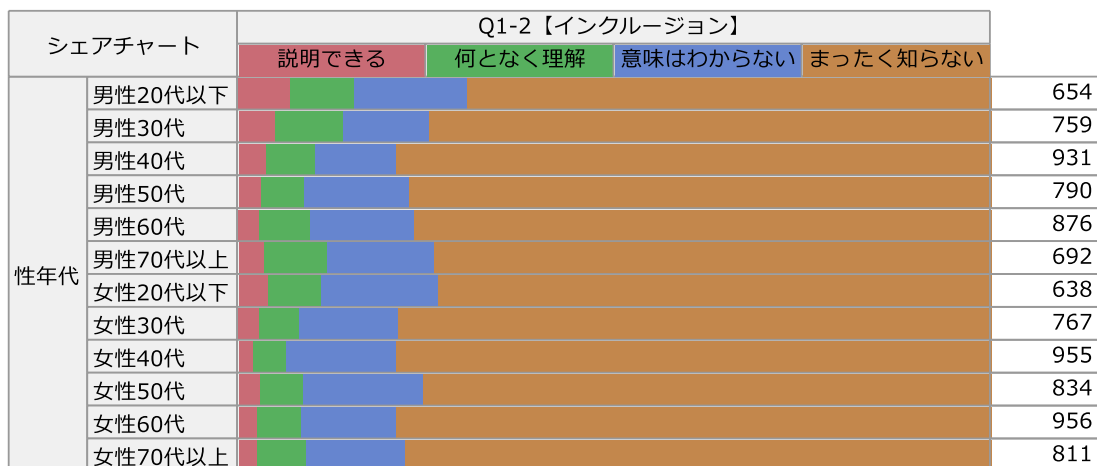
### 応答の等質性に対する検定

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-1【ダイバーシティ】	性年代	379.073	<.0001 *	373.983	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-2【インクルージョン】 ) By 性年代**

度数 シェア		Q1-2【インクルージョン】				応答の合計数
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	45 6.9%	56 8.6%	99 15.1%	454 69.4%	654
	男性30代	38 5.0%	68 9.0%	87 11.5%	566 74.6%	759
	男性40代	36 3.9%	60 6.4%	99 10.6%	736 79.1%	931
	男性50代	24 3.0%	46 5.8%	110 13.9%	610 77.2%	790
	男性60代	25 2.9%	58 6.6%	122 13.9%	671 76.6%	876
	男性70代以上	25 3.6%	57 8.2%	98 14.2%	512 74.0%	692
	女性20代以下	26 4.1%	45 7.1%	99 15.5%	468 73.4%	638
	女性30代	22 2.9%	41 5.3%	99 12.9%	605 78.9%	767
	女性40代	19 2.0%	43 4.5%	138 14.5%	755 79.1%	955
	女性50代	26 3.1%	46 5.5%	133 15.9%	629 75.4%	834
	女性60代	25 2.6%	55 5.8%	121 12.7%	755 79.0%	956
	女性70代以上	21 2.6%	53 6.5%	106 13.1%	631 77.8%	811


**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-2【インクルージョン】	性年代	87.5133	<.0001 *	91.9417	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-3【D&I】 ) By 性年代**

度数		Q1-3【D&I】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	29 4.4%	42 6.4%	51 7.8%	532 81.3%	654
	男性30代	24 3.2%	32 4.2%	52 6.9%	651 85.8%	759
	男性40代	20 2.1%	22 2.4%	50 5.4%	839 90.1%	931
	男性50代	13 1.6%	20 2.5%	45 5.7%	712 90.1%	790
	男性60代	8 0.9%	18 2.1%	64 7.3%	786 89.7%	876
	男性70代以上	7 1.0%	10 1.4%	48 6.9%	627 90.6%	692
	女性20代以下	12 1.9%	15 2.4%	46 7.2%	565 88.6%	638
	女性30代	7 0.9%	12 1.6%	34 4.4%	714 93.1%	767
	女性40代	1 0.1%	11 1.2%	34 3.6%	909 95.2%	955
	女性50代	3 0.4%	10 1.2%	52 6.2%	769 92.2%	834
	女性60代	4 0.4%	11 1.2%	55 5.8%	886 92.7%	956
	女性70代以上	2 0.2%	7 0.9%	50 6.2%	752 92.7%	811


**応答の等質性に対する検定**

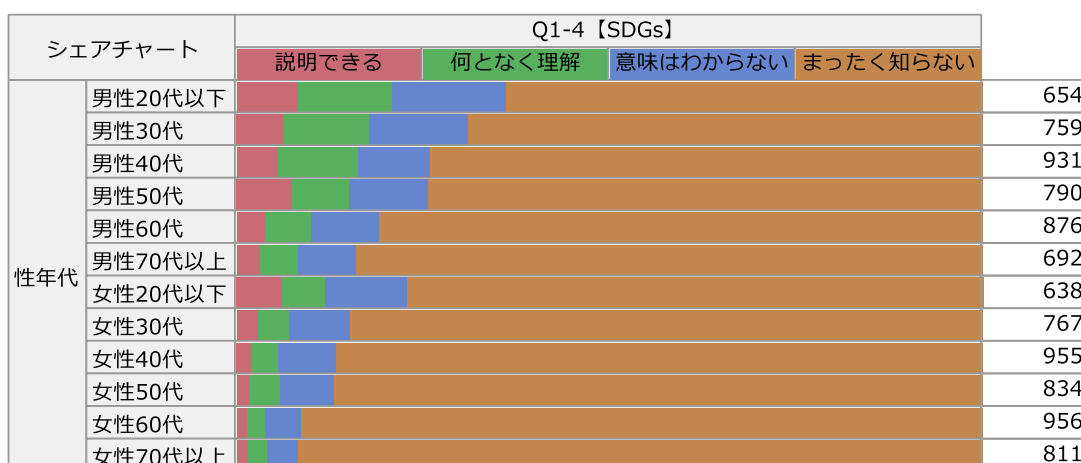
応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-3【D&I】	性年代	209.108	<.0001 *	231.831	<.0001 *

※性年代で有意差あり



**Responses( Q1-4 【SDGs】 ) By 性年代**

度数		Q1-4 【SDGs】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	55 8.4%	83 12.7%	99 15.1%	417 63.8%	654
	男性30代	48 6.3%	87 11.5%	102 13.4%	522 68.8%	759
	男性40代	54 5.8%	99 10.6%	90 9.7%	688 73.9%	931
	男性50代	60 7.6%	60 7.6%	85 10.8%	585 74.1%	790
	男性60代	36 4.1%	53 6.1%	79 9.0%	708 80.8%	876
	男性70代以上	23 3.3%	35 5.1%	53 7.7%	581 84.0%	692
	女性20代以下	39 6.1%	38 6.0%	69 10.8%	492 77.1%	638
	女性30代	23 3.0%	31 4.0%	65 8.5%	648 84.5%	767
	女性40代	19 2.0%	35 3.7%	75 7.9%	826 86.5%	955
	女性50代	15 1.8%	35 4.2%	61 7.3%	723 86.7%	834
	女性60代	16 1.7%	22 2.3%	46 4.8%	872 91.2%	956
	女性70代以上	12 1.5%	23 2.8%	32 3.9%	744 91.7%	811


**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-4 【SDGs】	性年代	473.301	<.0001 *	476.973	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-5【SOGI】 ) By 性年代**

度数 シェア		Q1-5【SOGI】				応答の合計数
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	32 4.9%	49 7.5%	49 7.5%	524 80.1%	654
	男性30代	17 2.2%	42 5.5%	53 7.0%	647 85.2%	759
	男性40代	18 1.9%	26 2.8%	49 5.3%	838 90.0%	931
	男性50代	9 1.1%	20 2.5%	41 5.2%	720 91.1%	790
	男性60代	3 0.3%	21 2.4%	52 5.9%	800 91.3%	876
	男性70代以上	6 0.9%	9 1.3%	39 5.6%	638 92.2%	692
	女性20代以下	12 1.9%	22 3.4%	35 5.5%	569 89.2%	638
	女性30代	7 0.9%	11 1.4%	31 4.0%	718 93.6%	767
	女性40代	5 0.5%	11 1.2%	34 3.6%	905 94.8%	955
	女性50代	3 0.4%	3 0.4%	45 5.4%	783 93.9%	834
	女性60代	3 0.3%	7 0.7%	39 4.1%	907 94.9%	956
	女性70代以上	3 0.4%	15 1.8%	35 4.3%	758 93.5%	811

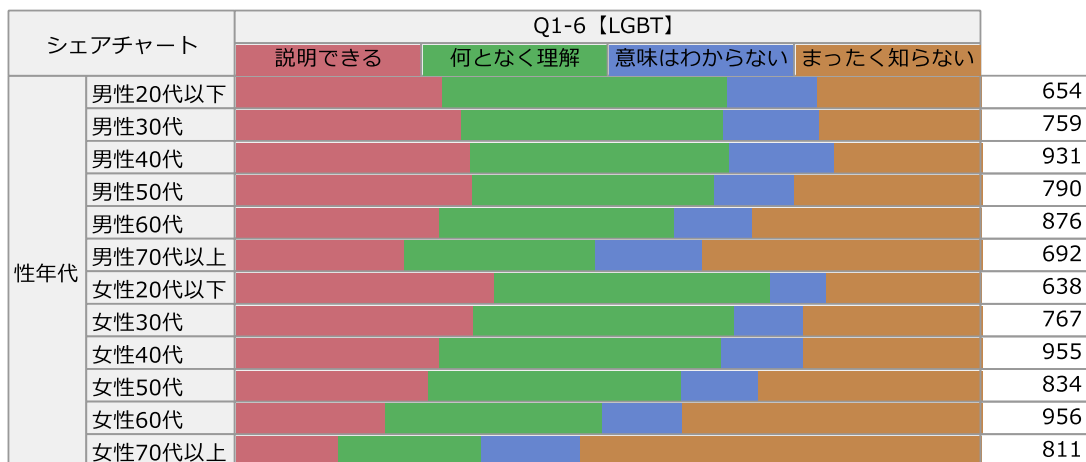

**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-5【SOGI】	性年代	253.026	<.0001 *	293.438	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-6 【LGBT】 ) By 性年代**

度数		Q1-6 【LGBT】				応答の合計数
シェア		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	182 27.8%	249 38.1%	80 12.2%	143 21.9%	654
	男性30代	230 30.3%	267 35.2%	98 12.9%	164 21.6%	759
	男性40代	293 31.5%	323 34.7%	131 14.1%	184 19.8%	931
	男性50代	251 31.8%	257 32.5%	83 10.5%	199 25.2%	790
	男性60代	240 27.4%	276 31.5%	92 10.5%	268 30.6%	876
	男性70代以上	157 22.7%	177 25.6%	99 14.3%	259 37.4%	692
	女性20代以下	221 34.6%	237 37.1%	48 7.5%	132 20.7%	638
	女性30代	245 31.9%	268 34.9%	71 9.3%	183 23.9%	767
	女性40代	261 27.3%	361 37.8%	105 11.0%	228 23.9%	955
	女性50代	216 25.9%	282 33.8%	87 10.4%	249 29.9%	834
	女性60代	192 20.1%	277 29.0%	103 10.8%	384 40.2%	956
	女性70代以上	112 13.8%	155 19.1%	108 13.3%	436 53.8%	811

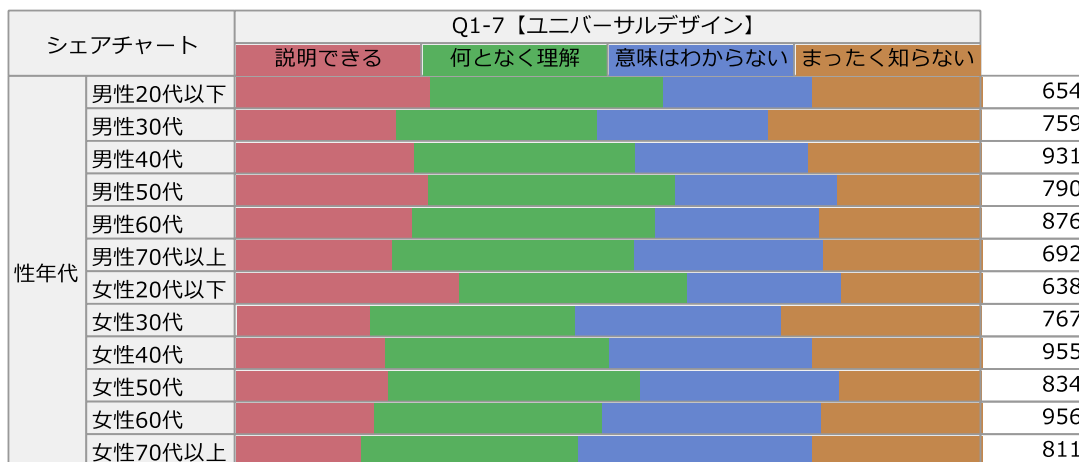

**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-6 【LGBT】	性年代	529.264	<.0001 *	539.463	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-7【ユニバーサルデザイン】 ) By 性年代**

度数 シェア		Q1-7【ユニバーサルデザイン】				応答の合計数
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	171 26.1%	205 31.3%	129 19.7%	149 22.8%	654
	男性30代	163 21.5%	205 27.0%	175 23.1%	216 28.5%	759
	男性40代	222 23.8%	276 29.6%	217 23.3%	216 23.2%	931
	男性50代	205 25.9%	260 32.9%	172 21.8%	153 19.4%	790
	男性60代	208 23.7%	285 32.5%	193 22.0%	190 21.7%	876
	男性70代以上	146 21.1%	224 32.4%	175 25.3%	147 21.2%	692
	女性20代以下	191 29.9%	195 30.6%	132 20.7%	120 18.8%	638
	女性30代	139 18.1%	210 27.4%	213 27.8%	205 26.7%	767
	女性40代	191 20.0%	287 30.1%	261 27.3%	216 22.6%	955
	女性50代	171 20.5%	282 33.8%	222 26.6%	159 19.1%	834
	女性60代	177 18.5%	293 30.6%	280 29.3%	206 21.5%	956
	女性70代以上	136 16.8%	238 29.3%	252 31.1%	185 22.8%	811

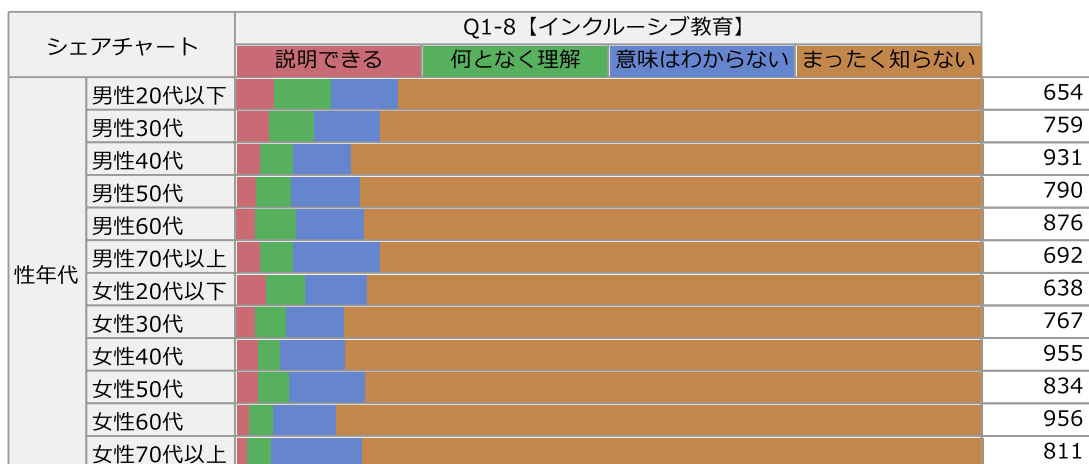

**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-7【ユニバーサルデザイン】	性年代	142.188	<.0001 *	144.054	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-8【インクルーシブ教育】 ) By 性年代**

度数 シェア		Q1-8【インクルーシブ教育】				応答の合計数
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	34 5.2%	50 7.6%	58 8.9%	512 78.3%	654
	男性30代	35 4.6%	46 6.1%	65 8.6%	613 80.8%	759
	男性40代	31 3.3%	41 4.4%	72 7.7%	787 84.5%	931
	男性50代	23 2.9%	36 4.6%	72 9.1%	659 83.4%	790
	男性60代	22 2.5%	49 5.6%	78 8.9%	727 83.0%	876
	男性70代以上	22 3.2%	31 4.5%	81 11.7%	558 80.6%	692
	女性20代以下	25 3.9%	35 5.5%	52 8.2%	526 82.4%	638
	女性30代	20 2.6%	32 4.2%	59 7.7%	656 85.5%	767
	女性40代	29 3.0%	28 2.9%	83 8.7%	815 85.3%	955
	女性50代	25 3.0%	34 4.1%	86 10.3%	689 82.6%	834
	女性60代	18 1.9%	30 3.1%	81 8.5%	827 86.5%	956
	女性70代以上	12 1.5%	26 3.2%	98 12.1%	675 83.2%	811

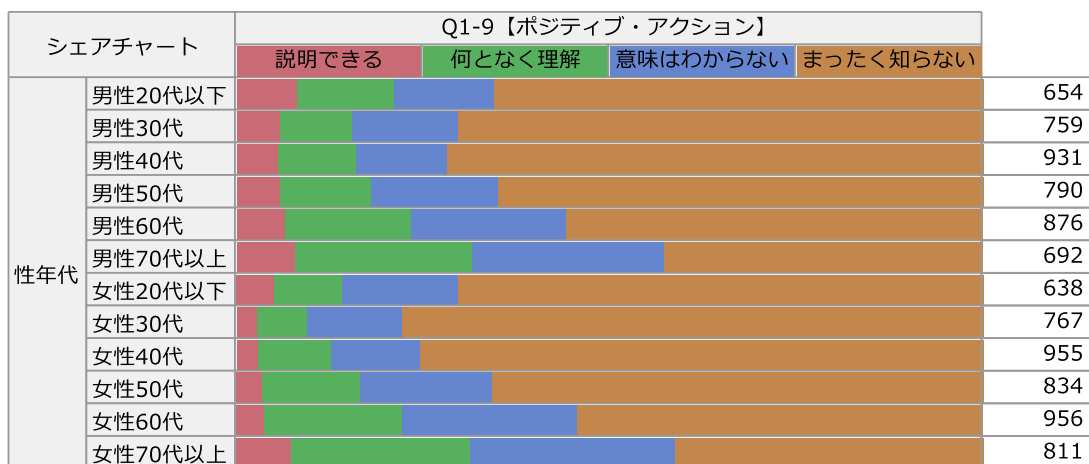

**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-8【インクルーシブ教育】	性年代	86.9964	<.0001 *	89.4742	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-9【ポジティブ・アクション】 ) By 性年代**

度数 シェア		Q1-9【ポジティブ・アクション】				応答の合計数
		説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない	
性年代	男性20代以下	53 8.1%	86 13.1%	87 13.3%	428 65.4%	654
	男性30代	45 5.9%	73 9.6%	108 14.2%	533 70.2%	759
	男性40代	54 5.8%	96 10.3%	113 12.1%	668 71.8%	931
	男性50代	47 5.9%	95 12.0%	136 17.2%	512 64.8%	790
	男性60代	58 6.6%	147 16.8%	184 21.0%	487 55.6%	876
	男性70代以上	54 7.8%	165 23.8%	179 25.9%	294 42.5%	692
	女性20代以下	34 5.3%	56 8.8%	100 15.7%	448 70.2%	638
	女性30代	22 2.9%	52 6.8%	97 12.6%	596 77.7%	767
	女性40代	29 3.0%	92 9.6%	114 11.9%	720 75.4%	955
	女性50代	30 3.6%	109 13.1%	147 17.6%	548 65.7%	834
	女性60代	36 3.8%	176 18.4%	225 23.5%	519 54.3%	956
	女性70代以上	61 7.5%	193 23.8%	224 27.6%	333 41.1%	811

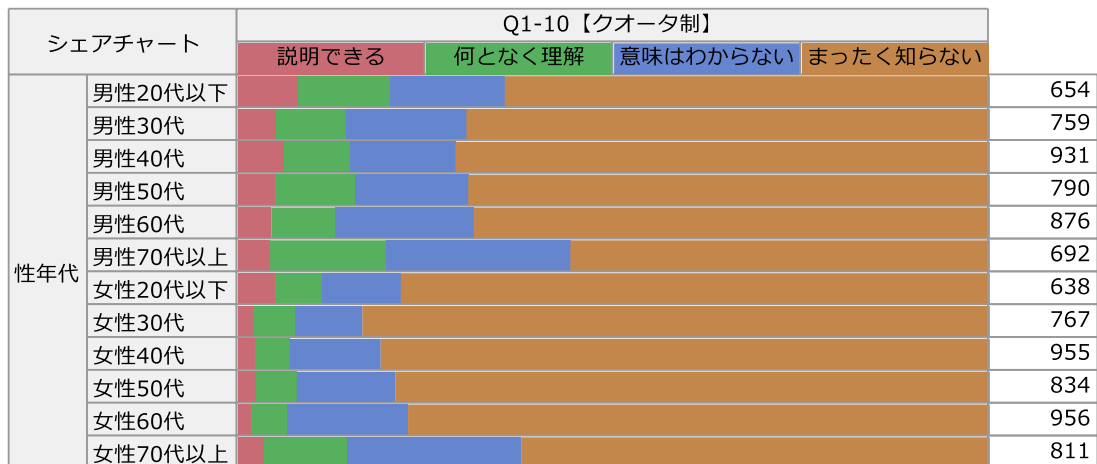

**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson	
				カイ2乗	Pearson p値
Q1-9【ポジティブ・アクション】	性年代	610.505	<.0001 *	610.726	<.0001 *

※性年代で有意差あり

**Responses( Q1-10【クオータ制】 ) By 性年代**

度数		Q1-10【クオータ制】				応答の合計数
シェア	説明できる	何となく理解	意味はわからない	まったく知らない		
性年代	男性20代以下	53 8.1%	79 12.1%	100 15.3%	422 64.5%	654
	男性30代	39 5.1%	70 9.2%	122 16.1%	528 69.6%	759
	男性40代	57 6.1%	83 8.9%	131 14.1%	660 70.9%	931
	男性50代	39 4.9%	84 10.6%	119 15.1%	548 69.4%	790
	男性60代	39 4.5%	75 8.6%	161 18.4%	601 68.6%	876
	男性70代以上	30 4.3%	107 15.5%	170 24.6%	385 55.6%	692
	女性20代以下	31 4.9%	41 6.4%	67 10.5%	499 78.2%	638
	女性30代	15 2.0%	43 5.6%	70 9.1%	639 83.3%	767
	女性40代	23 2.4%	43 4.5%	116 12.1%	773 80.9%	955
	女性50代	21 2.5%	44 5.3%	111 13.3%	658 78.9%	834
	女性60代	17 1.8%	47 4.9%	152 15.9%	740 77.4%	956
	女性70代以上	29 3.6%	91 11.2%	187 23.1%	504 62.1%	811

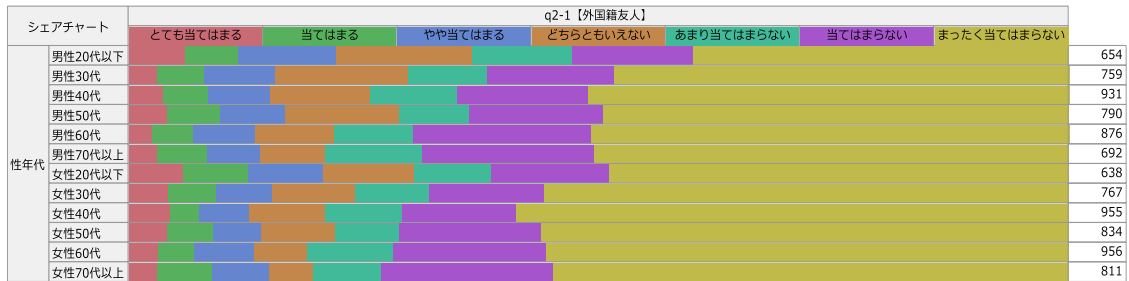

**応答の等質性に対する検定**

応答の列	標本の列	尤度比 カイ2乗	尤度比 p値	Pearson カイ2乗	Pearson p値
Q1-10【クオータ制】	性年代	378.765	<.0001 *	383.788	<.0001 *

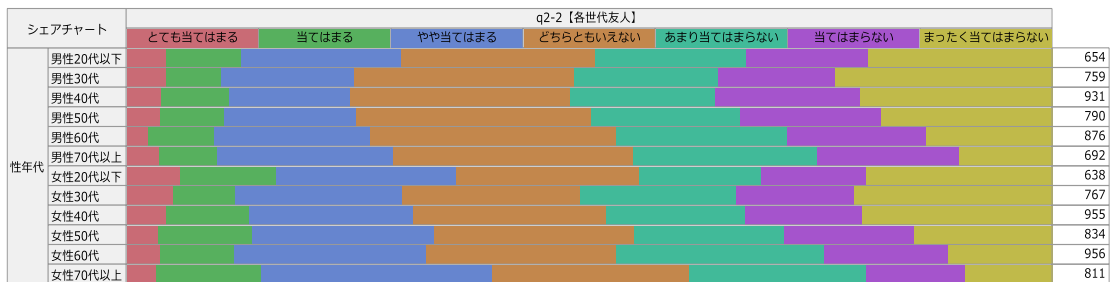
※性年代で有意差あり

**Responses( q2-1 【外国籍友人】 ) By 性年代**

度数		q2-1 【外国籍友人】							シエア	回答の合計数
とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない				
性年代	男性20代以下	39 6.0%	37 5.7%	68 10.4%	95 14.5%	70 10.7%	84 12.8%	261 39.9%	654	
	男性30代	23 3.0%	38 5.0%	57 7.5%	108 14.2%	64 8.4%	102 13.4%	367 48.4%	759	
	男性40代	34 3.7%	45 4.8%	61 6.6%	99 10.6%	87 9.3%	129 13.9%	476 51.1%	931	
	男性50代	33 4.2%	44 5.6%	54 6.8%	97 12.3%	58 7.3%	113 14.3%	391 49.5%	790	
	男性60代	22 2.5%	38 4.3%	58 6.6%	73 8.3%	74 8.4%	166 18.9%	445 50.8%	876	
	男性70代以上	21 3.0%	37 5.3%	39 5.6%	48 6.9%	71 10.3%	127 18.4%	349 50.4%	692	
	女性20代以下	37 5.8%	44 6.9%	51 8.0%	62 9.7%	52 8.2%	80 12.5%	312 48.9%	638	
	女性30代	33 4.3%	38 5.0%	46 6.0%	68 8.9%	60 7.8%	94 12.3%	428 55.8%	767	
	女性40代	42 4.4%	30 3.1%	50 5.2%	78 8.2%	77 8.1%	117 12.3%	561 58.7%	955	
	女性50代	34 4.1%	41 4.9%	43 5.2%	65 7.8%	57 6.8%	126 15.1%	468 56.1%	834	
	女性60代	30 3.1%	36 3.8%	62 6.5%	53 5.5%	88 9.2%	156 16.3%	531 55.5%	956	
	女性70代以上	25 3.1%	47 5.8%	49 6.0%	38 4.7%	59 7.3%	148 18.2%	445 54.9%	811	


**Responses( q2-2 【各世代友人】 ) By 性年代**

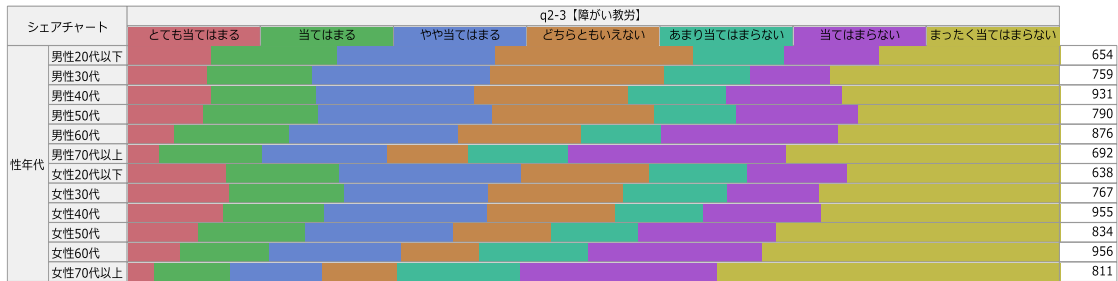
度数		q2-2 【各世代友人】							シエア	回答の合計数
とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない				
性年代	男性20代以下	28 4.3%	53 8.1%	113 17.3%	137 20.9%	106 16.2%	87 13.3%	130 19.9%	654	
	男性30代	32 4.2%	46 6.1%	109 14.4%	180 23.7%	118 15.5%	96 12.6%	178 23.5%	759	
	男性40代	35 3.8%	68 7.3%	121 13.0%	222 23.8%	146 15.7%	146 15.7%	193 20.7%	931	
	男性50代	29 3.7%	54 6.8%	113 14.3%	201 25.4%	126 15.9%	121 15.3%	146 18.5%	790	
	男性60代	20 2.3%	63 7.2%	147 16.8%	233 26.6%	162 18.5%	132 15.1%	119 13.6%	876	
	男性70代以上	24 3.5%	44 6.4%	131 18.9%	180 26.0%	137 19.8%	107 15.5%	692		
	女性20代以下	37 5.8%	66 10.3%	124 19.4%	126 19.7%	84 13.2%	73 11.4%	128 20.1%	638	
	女性30代	38 5.0%	52 6.8%	138 18.0%	148 19.3%	129 16.8%	98 12.8%	164 21.4%	767	
	女性40代	41 4.3%	85 8.9%	170 17.8%	198 20.7%	143 15.0%	122 12.8%	196 20.5%	955	
	女性50代	29 3.5%	84 10.1%	164 19.7%	180 21.6%	136 16.3%	116 13.9%	125 15.0%	834	
	女性60代	35 3.7%	77 8.1%	197 20.6%	197 20.6%	214 22.4%	128 13.4%	108 11.3%	956	
	女性70代以上	26 3.2%	92 11.3%	202 24.9%	172 21.2%	156 19.2%	87 10.7%	76 9.4%	811	



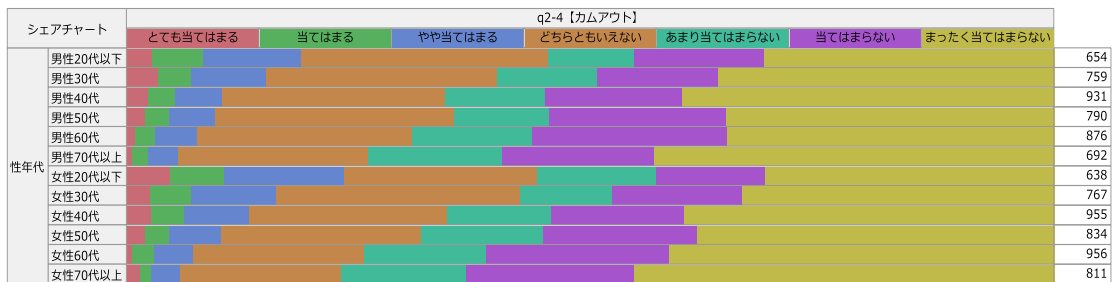


**Responses( q2-3【障がい教養】 ) By 性年代**

度数		q2-3【障がい教養】							回答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
性年代	男性20代以下	59	88	111	139	64	66	127	654
		9.0%	13.5%	17.0%	21.3%	9.8%	10.1%	19.4%	
	男性30代	65	85	145	142	70	65	187	759
		8.6%	11.2%	19.1%	18.7%	9.2%	8.6%	24.6%	
	男性40代	84	105	157	154	98	115	218	931
		9.0%	11.3%	16.9%	16.5%	10.5%	12.4%	23.4%	
	男性50代	64	98	147	137	70	103	171	790
		8.1%	12.4%	18.6%	17.3%	8.9%	13.0%	21.6%	
	男性60代	44	108	159	115	76	166	208	876
		5.0%	12.3%	18.2%	13.1%	8.7%	18.9%	23.7%	
	男性70代以上	24	76	93	60	74	162	203	692
		3.5%	11.0%	13.4%	8.7%	10.7%	23.4%	29.3%	
	女性20代以下	68	77	124	88	67	68	146	638
		10.7%	12.1%	19.4%	13.8%	10.5%	10.7%	22.9%	
女性30代	83	95	119	111	85	76	198	767	
	10.8%	12.4%	15.5%	14.5%	11.1%	9.9%	25.8%		
女性40代	98	104	167	131	89	121	245	955	
	10.3%	10.9%	17.5%	13.7%	9.3%	12.7%	25.7%		
女性50代	63	96	132	88	77	124	254	834	
	7.6%	11.5%	15.8%	10.6%	9.2%	14.9%	30.5%		
女性60代	55	90	136	80	111	179	305	956	
	5.8%	9.4%	14.2%	8.4%	11.6%	18.7%	31.9%		
女性70代以上	23	66	81	65	106	172	298	811	
	2.8%	8.1%	10.0%	8.0%	13.1%	21.2%	36.7%		

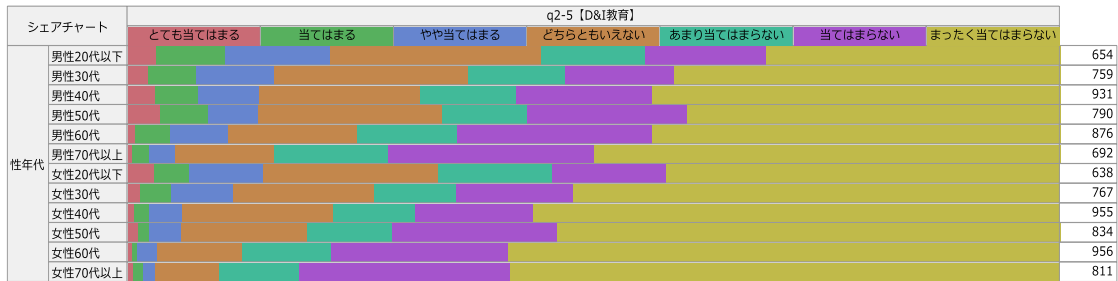

**Responses( q2-4【カムアウト】 ) By 性年代**

度数		q2-4【カムアウト】							回答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
性年代	男性20代以下	18	36	69	174	61	91	205	654
		2.8%	5.5%	10.6%	26.6%	9.3%	13.9%	31.3%	
	男性30代	25	28	61	189	82	99	275	759
		3.3%	3.7%	8.0%	24.9%	10.8%	13.0%	36.2%	
	男性40代	22	26	47	225	101	136	374	931
		2.4%	2.8%	5.0%	24.2%	10.8%	14.6%	40.2%	
	男性50代	16	20	39	204	81	150	280	790
		2.0%	2.5%	4.9%	25.8%	10.3%	19.0%	35.4%	
	男性60代	9	18	39	204	113	184	309	876
		1.0%	2.1%	4.5%	23.3%	12.9%	21.0%	35.3%	
	男性70代以上	4	12	22	142	100	114	298	692
		0.6%	1.7%	3.2%	20.5%	14.5%	16.5%	43.1%	
	女性20代以下	30	37	83	132	82	75	199	638
		4.7%	5.8%	13.0%	20.7%	12.9%	11.8%	31.2%	
女性30代	19	34	70	202	77	107	258	767	
	2.5%	4.4%	9.1%	26.3%	10.0%	14.0%	33.6%		
女性40代	25	34	67	203	108	137	381	955	
	2.6%	3.6%	7.0%	21.3%	11.3%	14.3%	39.9%		
女性50代	17	21	47	180	109	139	321	834	
	2.0%	2.5%	5.6%	21.6%	13.1%	16.7%	38.5%		
女性60代	5	23	40	176	126	190	396	956	
	0.5%	2.4%	4.2%	18.4%	13.2%	19.9%	41.4%		
女性70代以上	12	9	26	140	109	148	367	811	
	1.5%	1.1%	3.2%	17.3%	13.4%	18.2%	45.3%		

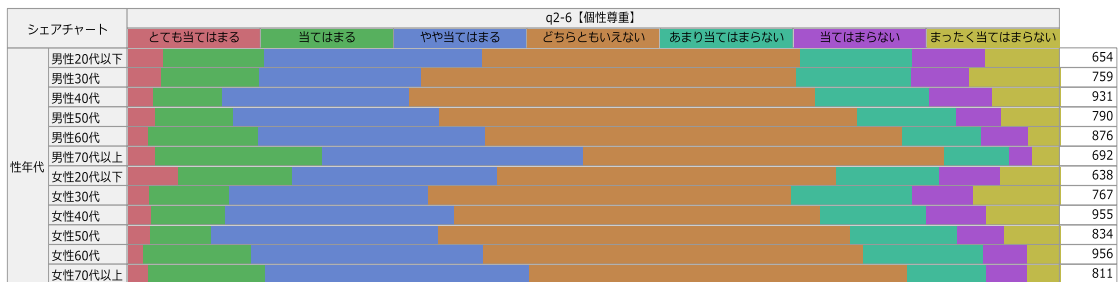


**Responses( q2-5【D&I教育】 ) By 性年代**

度数		q2-5【D&I教育】							応答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
性年代	男性20代以下	20	48	74	148	73	85	206	654
		3.1%	7.3%	11.3%	22.6%	11.2%	13.0%	31.5%	
	男性30代	17	39	64	157	79	89	314	759
		2.2%	5.1%	8.4%	20.7%	10.4%	11.7%	41.4%	
	男性40代	28	42	62	160	96	136	407	931
		3.0%	4.5%	6.7%	17.2%	10.3%	14.6%	43.7%	
	男性50代	27	42	42	156	72	135	316	790
		3.4%	5.3%	5.3%	19.7%	9.1%	17.1%	40.0%	
	男性60代	8	32	55	121	94	183	383	876
		0.9%	3.7%	6.3%	13.8%	10.7%	20.9%	43.7%	
	男性70代以上	3	13	19	74	84	153	346	692
		0.4%	1.9%	2.7%	10.7%	12.1%	22.1%	50.0%	
	女性20代以下	18	24	51	120	77	79	269	638
		2.8%	3.8%	8.0%	18.8%	12.1%	12.4%	42.2%	
女性30代	11	25	51	116	67	97	400	767	
	1.4%	3.3%	6.6%	15.1%	8.7%	12.6%	52.2%		
女性40代	7	15	34	155	84	121	539	955	
	0.7%	1.6%	3.6%	16.2%	8.8%	12.7%	56.4%		
女性50代	10	9	29	113	76	147	450	834	
	1.2%	1.1%	3.5%	13.5%	9.1%	17.6%	54.0%		
女性60代	4	6	21	86	92	182	565	956	
	0.4%	0.6%	2.2%	9.0%	9.6%	19.0%	59.1%		
女性70代以上	5	9	10	56	70	183	478	811	
	0.6%	1.1%	1.2%	6.9%	8.6%	22.6%	58.9%		

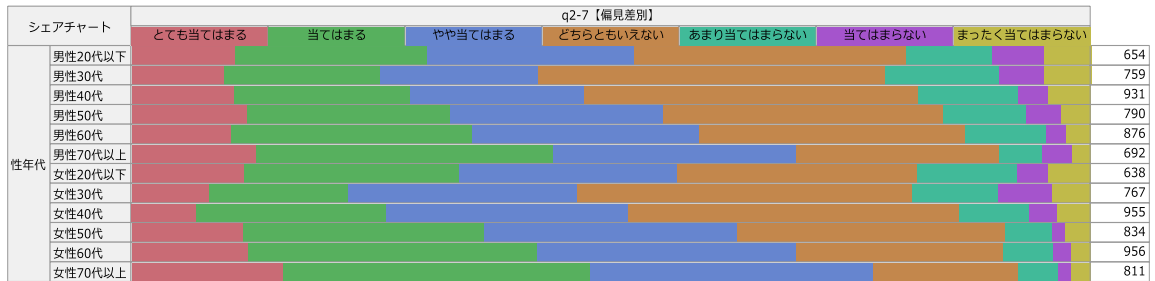

**Responses( q2-6【個性尊重】 ) By 性年代**

度数		q2-6【個性尊重】							応答の合計数
シェア	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
性年代	男性20代以下	25	71	153	223	78	52	52	654
		3.8%	10.9%	23.4%	34.1%	11.9%	8.0%	8.0%	
	男性30代	27	80	132	305	94	47	74	759
		3.6%	10.5%	17.4%	40.2%	12.4%	6.2%	9.7%	
	男性40代	25	69	188	405	113	64	67	931
		2.7%	7.4%	20.2%	43.5%	12.1%	6.9%	7.2%	
	男性50代	23	66	175	354	85	37	50	790
		2.9%	8.4%	22.2%	44.8%	10.8%	4.7%	6.3%	
	男性60代	19	104	213	392	74	44	30	876
		2.2%	11.9%	24.3%	44.7%	8.4%	5.0%	3.4%	
	男性70代以上	20	125	193	268	48	18	20	692
		2.9%	18.1%	27.9%	38.7%	6.9%	2.6%	2.9%	
	女性20代以下	35	78	140	232	71	41	41	638
		5.5%	12.2%	21.9%	36.4%	11.1%	6.4%	6.4%	
女性30代	18	66	163	299	99	51	71	767	
	2.3%	8.6%	21.3%	39.0%	12.9%	6.6%	9.3%		
女性40代	24	76	235	374	109	62	75	955	
	2.5%	8.0%	24.6%	39.2%	11.4%	6.5%	7.9%		
女性50代	20	55	202	370	95	42	50	834	
	2.4%	6.6%	24.2%	44.4%	11.4%	5.0%	6.0%		
女性60代	16	110	239	389	124	44	34	956	
	1.7%	11.5%	25.0%	40.7%	13.0%	4.6%	3.6%		
女性70代以上	18	102	230	328	69	35	29	811	
	2.2%	12.6%	28.4%	40.4%	8.5%	4.3%	3.6%		

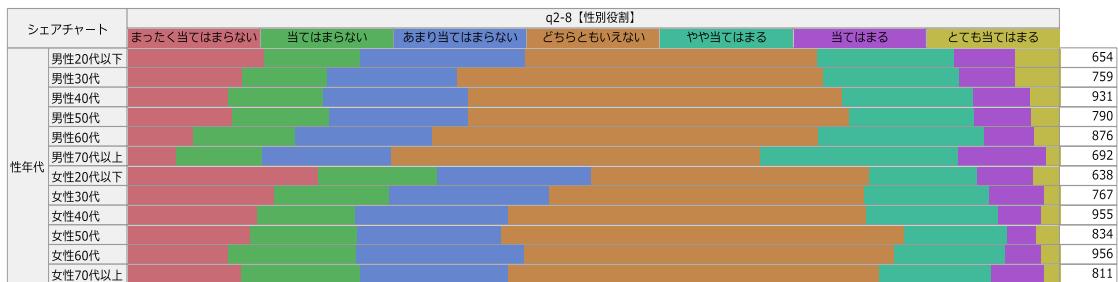


**Responses( q2-7【偏見差別】 ) By 性年代**

度数		q2-7【偏見差別】							シエア	応答の合計数
		とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
性年代	男性20代以下	71	131	141	185	59	35	32	654	
		10.9%	20.0%	21.6%	28.3%	9.0%	5.4%	4.9%		
	男性30代	74	123	125	274	91	35	37	759	
		9.7%	16.2%	16.5%	36.1%	12.0%	4.6%	4.9%		
	男性40代	100	170	170	324	97	29	41	931	
		10.7%	18.3%	18.3%	34.8%	10.4%	3.1%	4.4%		
	男性50代	95	168	175	231	68	29	24	790	
		12.0%	21.3%	22.2%	29.2%	8.6%	3.7%	3.0%		
	男性60代	91	220	208	242	74	19	22	876	
		10.4%	25.1%	23.7%	27.6%	8.4%	2.2%	2.5%		
	男性70代以上	90	214	176	146	31	22	13	692	
		13.0%	30.9%	25.4%	21.1%	4.5%	3.2%	1.9%		
	女性20代以下	75	143	145	160	66	21	28	638	
		11.8%	22.4%	22.7%	25.1%	10.3%	3.3%	4.4%		
女性30代	63	110	184	267	69	44	30	767		
	8.2%	14.3%	24.0%	34.8%	9.0%	5.7%	3.9%			
女性40代	64	190	241	329	70	28	33	955		
	6.7%	19.9%	25.2%	34.5%	7.3%	2.9%	3.5%			
女性50代	97	209	221	233	40	12	22	834		
	11.6%	25.1%	26.5%	27.9%	4.8%	1.4%	2.6%			
女性60代	116	288	259	206	49	19	19	956		
	12.1%	30.1%	27.1%	21.5%	5.1%	2.0%	2.0%			
女性70代以上	128	260	239	123	33	12	16	811		
	15.8%	32.1%	29.5%	15.2%	4.1%	1.5%	2.0%			

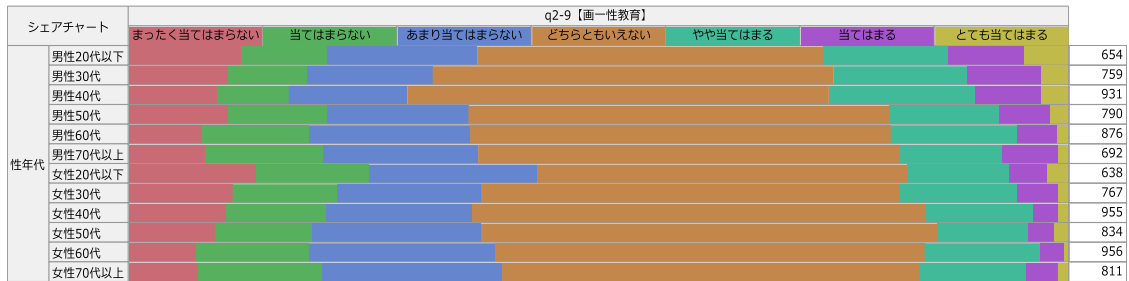

**Responses( q2-8【性別役割】 ) By 性年代**

度数		q2-8【性別役割】							シエア	応答の合計数
		まったく当てはまらない	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	やや当てはまる	当てはまる	とても当てはまる		
性年代	男性20代以下	96	67	116	205	96	43	31	654	
		14.7%	10.2%	17.7%	31.3%	14.7%	6.6%	4.7%		
	男性30代	93	70	105	299	110	46	36	759	
		12.3%	9.2%	13.8%	39.4%	14.5%	6.1%	4.7%		
	男性40代	100	96	144	373	131	57	30	931	
		10.7%	10.3%	15.5%	40.1%	14.1%	6.1%	3.2%		
	男性50代	89	82	118	323	105	49	24	790	
		11.3%	10.4%	14.9%	40.9%	13.3%	6.2%	3.0%		
	男性60代	62	96	129	362	155	48	24	876	
		7.1%	11.0%	14.7%	41.3%	17.7%	5.5%	2.7%		
	男性70代以上	36	64	95	275	147	65	10	692	
		5.2%	9.2%	13.7%	39.7%	21.2%	9.4%	1.4%		
	女性20代以下	130	82	105	191	73	39	18	638	
		20.4%	12.9%	16.5%	29.9%	11.4%	6.1%	2.8%		
女性30代	121	94	132	259	103	45	13	767		
	15.8%	12.3%	17.2%	33.8%	13.4%	5.9%	1.7%			
女性40代	133	100	157	367	135	44	19	955		
	13.9%	10.5%	16.4%	38.4%	14.1%	4.6%	2.0%			
女性50代	110	95	130	360	91	27	21	834		
	13.2%	11.4%	15.6%	43.2%	10.9%	3.2%	2.5%			
女性60代	104	130	172	381	113	37	19	956		
	10.9%	13.6%	18.0%	39.9%	11.8%	3.9%	2.0%			
女性70代以上	99	103	129	323	97	46	14	811		
	12.2%	12.7%	15.9%	39.8%	12.0%	5.7%	1.7%			

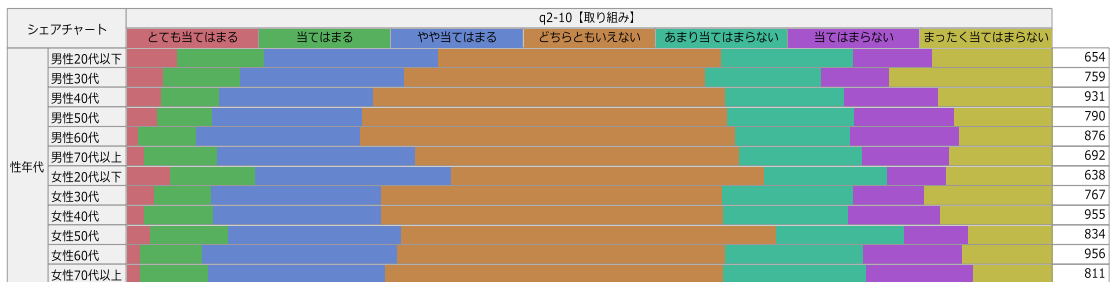


**Responses( q2-9【画一性教育】 ) By 性年代**

度数		q2-9【画一性教育】							シエア	回答の合計数
		まったく当てはまらない	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	やや当てはまる	当てはまる	とても当てはまる		
性年代	男性20代以下	78	60	104	241	87	53	31	654	
		11.9%	9.2%	15.9%	36.9%	13.3%	8.1%	4.7%		
	男性30代	81	63	101	324	108	60	22	759	
		10.7%	8.3%	13.3%	42.7%	14.2%	7.9%	2.9%		
	男性40代	88	70	118	417	145	65	28	931	
		9.5%	7.5%	12.7%	44.8%	15.6%	7.0%	3.0%		
	男性50代	83	84	118	354	92	43	16	790	
		10.5%	10.6%	14.9%	44.8%	11.6%	5.4%	2.0%		
	男性60代	69	99	150	392	118	37	11	876	
		7.9%	11.3%	17.1%	44.7%	13.5%	4.2%	1.3%		
	男性70代以上	56	87	114	310	76	41	8	692	
		8.1%	12.6%	16.5%	44.8%	11.0%	5.9%	1.2%		
	女性20代以下	87	76	114	251	70	25	15	638	
		13.6%	11.9%	17.9%	39.3%	11.0%	3.9%	2.4%		
女性30代	85	85	117	342	96	33	9	767		
	11.1%	11.1%	15.3%	44.6%	12.5%	4.3%	1.2%			
女性40代	99	102	148	460	110	25	11	955		
	10.4%	10.7%	15.5%	48.2%	11.5%	2.6%	1.2%			
女性50代	77	86	149	405	81	23	13	834		
	9.2%	10.3%	17.9%	48.6%	9.7%	2.8%	1.6%			
女性60代	69	114	190	436	118	24	5	956		
	7.2%	11.9%	19.9%	45.6%	12.3%	2.5%	0.5%			
女性70代以上	60	107	155	361	91	27	10	811		
	7.4%	13.2%	19.1%	44.5%	11.2%	3.3%	1.2%			


**Responses( q2-10【取り組み】 ) By 性年代**

度数		q2-10【取り組み】							シエア	回答の合計数
		とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない		
性年代	男性20代以下	36	61	123	200	93	56	85	654	
		5.5%	9.3%	18.8%	30.6%	14.2%	8.6%	13.0%		
	男性30代	30	63	134	248	94	56	134	759	
		4.0%	8.3%	17.7%	32.7%	12.4%	7.4%	17.7%		
	男性40代	35	58	155	353	121	95	114	931	
		3.8%	6.2%	16.6%	37.9%	13.0%	10.2%	12.2%		
	男性50代	26	47	128	312	108	85	84	790	
		3.3%	5.9%	16.2%	39.5%	13.7%	10.8%	10.6%		
	男性60代	10	56	155	355	109	103	88	876	
		1.1%	6.4%	17.7%	40.5%	12.4%	11.8%	10.0%		
	男性70代以上	13	54	149	242	92	65	77	692	
		1.9%	7.8%	21.5%	35.0%	13.3%	9.4%	11.1%		
	女性20代以下	30	59	135	215	85	41	73	638	
		4.7%	9.2%	21.2%	33.7%	13.3%	6.4%	11.4%		
女性30代	23	47	141	282	109	59	106	767		
	3.0%	6.1%	18.4%	36.8%	14.2%	7.7%	13.8%			
女性40代	18	71	174	352	129	96	115	955		
	1.9%	7.4%	18.2%	36.9%	13.5%	10.1%	12.0%			
女性50代	21	70	156	338	116	57	76	834		
	2.5%	8.4%	18.7%	40.5%	13.9%	6.8%	9.1%			
女性60代	14	64	202	338	142	103	93	956		
	1.5%	6.7%	21.1%	35.4%	14.9%	10.8%	9.7%			
女性70代以上	12	59	155	296	126	93	70	811		
	1.5%	7.3%	19.1%	36.5%	15.5%	11.5%	8.6%			



## 7. 自由記述（ランダム抜粋）

男性 20 代以下

- それ自体は重要なことであると思うが表面的なものだけでなく教育などによって内面的な部分まで考えての活動が必要であると思う。
- これからの社会は人種や思想などが多様化していくと思われるので、より「違う」ということを相互に理解していく教育が必要だと思う。
- それが本当の姿だと思う。男性・女性の体のつくり・心の働き方で得意・不得意は出るが、人それぞれにできることをやれば良いと思う。
- みんな違って当たり前なんだし、自分も蔑まれるタイプなのでこの活動を通して少しでも社会が良くなるように自分もこの活動を応援したい。
- 個性を活かしあうことで社会のメリットになる。個性を発揮出来るような環境や本人のモチベーションを整えていくことが必要だと思います。
- 推進活動自体はとても素晴らしいと思うが、広まっているかどうか感じるところが微妙なので、もっと具体的に啓蒙していくことが大切だと思う。
- 日本の場合は昭和時代に自己の個性を主張する社会を経験しているので、そこから取捨選択して取り入れられれば社会の活性化につながると思います。
- 文字通り本当に“活かしている”のであれば良いが、実際は同じ環境の下で単に上っ面だけの共生を強いているだけなのではないか？と感じる事がある。
- 個性を活かし合う社会は目指すべきだと思うが、互いに個性をぶつけあったり、権利を振りかざす社会を目指したりする社会にならないことを願っている。
- 自分の意見をはっきりと出せるような環境が必要だと思う。しかしそれを実現できないのが問題だと思うので、もっと多様性のある社会を目指すべきと思う。
- 多様な価値観があるからこそ、社会としては共通のルールが大事になると思う。価値観全てに配慮した社会づくりは逆に自由ではなくなってしまうと思う。
- 具体的にどのような活動をされているのかはわかりませんが、差別や偏見をなくすために活動することは素晴らしいと思いますし、是非応援したいと思います。
- 人間はそれぞれ違う個性を持っているだろうし、それが当然だと思うので、無理に型にはめようとする社会はナンセンスだと感じていたため、非常に賛成である。
- 自分だけの価値観だけで物事を考えるのではなく、様々な人と関わり合うことで、多様な価値観を互いに分かち合い、視野を広げることができるきっかけになる。
- どのような活動が行われているのか具体的な知識はありませんが、お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりに貢献しているのであればそれは良いことだと思います。
- たとえば労働時間など個人、個人によって柔軟に設定されるとしたら歓迎である。障害者などだけでなく、大人の健常者の男性なども個性を尊重される社会であってほしい。

### 男性 30 代

- それぞれの個性や特徴の長所も短所も含めて分かち合い、理解しあいながら豊かな暮らし作りを高めていく大切な活動だと思っている。
- 本来は意義のあることだと思いますが、SNS での運動や昨今のデモ等を見るに推進している人らがうさん臭くて身構えてしまいます。
- 少数派の人が少数のままでいるとどうしても立場が弱くなってしまうので、インターネットなどで活動を広めることは良いことだと思う。
- 新しい事を始める上で、個人の力には限りがあるので互いの個性や考え方を取り入れるビジネスは今の社会において大変必要な事だと思う
- 個性を活かすのは良いと思うし、尊重されるべきだとは思いますが、多様性にも限度はあるし、許容も人によると思うので簡単には行かないと思う
- 今の時代に良い活動だと思う。まだまだ LGBT 等の差別が多いイメージだが、こういった活動により、差別が少しずつ減って欲しいと思う。
- 日本人は画一的な価値観を強制する傾向が強い為、日常に差別的行為があふれているが、それらに気付かないのが教育の失敗と言わざるを得ない。
- 違いを認めたり尊重する雰囲気を作ることは大切であり、積極的に広めるべきだが、規律や秩序を崩してまで行う多様性の受け入れはすべきでない。
- 個性は尊重される社会であるべき。とはいえその個性を斜に構えて社会に挑もうとする姿勢を持つものときにはいるがその点はあまり共感できない。
- 従来では社会が求める画一的なモデルに倣うことが良しとされてきたが、その弊害もあるため、個性を活かしあう社会を推進することはいいと思う
- テーマ内容にはおおむね賛成だが、違いや個性を活かす人たちの主張が強くなりすぎると溝ができ、逆に暮らしにくい社会になりそうで難しい問題だと思う。
- 違いや個性を認めるが、すべての人が権利ばかり主張しては社会は回らないため、やるべき仕事はやって欲しいと思う。特に男女差についてはよく思う。
- 一社員が発言や活動をするよりも、まずは経営者あるいは上の立場の人間がこれを理解し、これに対する議論、実践をしていかなければいけないと思います。
- 個性を活かすというのは会社内では責任感ある人と責任感が無い人との間で責任感が無い人が仕事をしない理由にするだけで完全に不公平を誘発するだけである
- すごくいい事だと思うけど、相手を理解するのは難しく、一方は理解する努力をしても、片一方がそれを出来ない、互いの個性を活かすことはできないと思う。
- ある程度は必要だが、あまりにも急進的だったりマイノリティの方がマジョリティより優遇されるべきという方向に向かわないような慎重さも絶対に必要だと思う。
- 教育だと思います。浸透するまでやり抜く根気がいる取り組みだと思います。ただ、これからのことを考えればそういった苦勞は絶対にしておくべきだとも思います。

## 男性 40 代

- 人口が減る国において、あれはダメ、これはダメでは持たないと思う。好き好まないにかかわらず多様な考えを受け入れざるを得ない。
- 誰もが何らかの才能があると思うので、知ってもらい、また知る事が必要であり、決して簡単ではないが自分なりに考え行動したい。
- 自分の常識を他人に押し付けず、お互いの考えや思想を理解し合う事が重要。一方で社会の秩序は守られるべきなので共通のルールは必要。
- 同じ尺度で判断するのではなく、多様な個性を積極的に認め受け入れる事が、今後の日本の在り方を良くして行くのではないかと思われる。
- 難しいと思う。言葉だけで綺麗なことを言うのはたやすいが、日本の価値観、日本人に根付いた価値観はそう簡単に多様性を受け入れない。
- 「画一性を排除すべき」というのも多様性の否定であり、規制、規範、統制の優位性もひっくり返して受容されることが望ましいと考えている。
- それが本来あるべき姿であるから推進するのは良いと思う。ただ急に変わること戸惑う人にとって配慮・猶予が考慮されないのもどうかと思う。
- 反対にくい正論を述べているように見えて、実際は特定のイデオロギーの体現を目指していることが少なくないようで、心情的に支持できない。
- 今後の日本社会を考えると外国人の存在は重要となる。価値観を始めとして、ますます多様化が進むため個性を理解し合う活動は必要になると思う。
- 適材適所の見極め教育がまだまだ不足している。此処が強みを理解することをもっと意識しない限り互いの違い、個性を生かし合うことはできない。
- 何故そのような推進活動がされているかわからない。どちらかというとかしあうというより理解するや認め合う方がしっくり馴染める気がする。
- 人間それぞれ考え方の違いがあるので、それを尊重することはとても大切なことだし、自分の意見を自然に表明できる社会環境はとても大切だと思う。
- 本当の意味での「お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりの推進」はいいことだと思うが、少数派の人が勝手なことを主張するだけになってほしくない。
- わざわざ、差異について尊重する・・・というようなことが、意識に上らないように、考えて活動を行ってほしい。絶対的に重要なのは、教育の変革かと思う。
- 個性を伸ばすことが、従来の画一的な仕組みが破壊されるのに抵抗がある。両立すべき問題であるはずなのに、従来の仕組みを壊して新しい仕組みを作ることに不満がある。
- すべての人を同じにするのは不可能なことだが、すべての人の個性を活かすことは可能だと思う。その二つを混同し勘違いする人が多いから世の中が変な風になると思う
- すごく良いことだと思います。お互いに違いがあって当たり前であり、考えを押し付けたり、自身の尺度でそれからはみ出してしまうものを否定したりするのは、違うと思います。

## 男性 50 代

- おたがいの個性を認め合うことは自分自身が持っていないものに触れる機会であり、自分の世界を広げることができると思っています
- 本人にとっては、大問題であり、他人には本当のつらさはわからないと思う。そのうえお互いを思いやる社会になってほしいと思う。
- とても良いことだと思うが、日本ではまだまだ古い考えを持った人が権力を握っているので、そこを打破する必要が早急にあると思う。
- 今は、気にしすぎなのではないか自然に生かせるようにすることが大切今はむりやりすることが正義を押し付けている。
- 皆人それぞれ顔形が違ってくる考え方や個性は様々であり、それぞれの考え方を押し付けたりせず、尊重し合いながら生活していきたい。
- 方向性はありだと思いますが、温故知新の如く、具体策が様々となりますので、柔軟に且つ大胆に進められるリーダーが不可欠だと思います。
- 個性や違いを自分の好きなことだけ主張する権利と考えず、個性や違いを認め合いながらも、ある程度の譲り合いができる社会であって欲しい。
- これからは大切になってくる事項だと思う。老人ばかりになってしまうので、様々な境遇の人を排除するのではなく、受け入れて行く必要がある。
- 基本的に歓迎する。が、世の中には保守的な考え方もあることを把握した上で、それこそいろいろな多様な人間や考え方を尊重した上で行って欲しい。
- 良い活動だと思うが、どのような状況でも、まず相手の立場で考えるという思考が大事だと思う。考えが及ばなければ、想像するだけでも価値があると思います。
- 今は個性を重視するといえばそれでルール無視の度を越した人間も出てきたりして均衡が保たれなくなりつつあるような気がする。そこをしっかりと押さえてほしいと思う。
- 相手の立場から物事を見ることによって、自分にも新しい発見やアイデアが生まれると思うので、多様性を受け入れて自分自身にも良い影響を及ぼす事が出来るものと信じています。
- 深く考えたことがない。違いがあるのが普通の社会だと思っているので。NPO 法人化し、国から資金を調達して、あえてそこに関わろうとするような行為は、個人的には好きではない。
- きちんとした指導者がいて、いい方向に向かうのであればいいが、大概、好き勝手にやることと受け取られ、それが繰り返されていくうちに古き良き日本の慣習が失われてしまうと考えます。
- まずは、お互いを理解しあうこと。従来の男と女という区別でさえお互いの理解が進んでいない。一見、今の方が理解が寛容な気がするが、自分の事しか気にしない人が増えたせいだと感じる。
- いわゆる島国根性と言われ、同調性を重んじてきた国民性だったように感じていたが、最近では自分と違う考え・個性でも相手の気持ちをまずは尊重する姿勢が大事だしそうあるべきだと思います。
- 違いや個性を活かしあうという意味が分かりません。違いや個性を活かすという考えには、先に問題になった生産性優先の考えが無意識に入り込んでいるように思えます。個々人の違いや個性は尊重することだと思います。



## 男性 60 代

- 経済的に落ち着いていればそのような社会づくりもし易くなるが、現在の日本のような格差が大きい社会では難しいような気がする。
- 小さい時からの教育である程度、偏見は解消(理解)できると思います。社会全体が積極的に取り組むこの度のとだと考えています。
- 障害を持っている人でも好きでこの世に生まれてきたのではないので、そのような人たちと一緒に生活をしてみたいと思うような心が必要。
- 競争が有り、格差がある資本主義社会で個性を認めることはできても活かしあう事は難しい。社会で優劣のない状況でしか可能ではない。
- 個性を活かしあう必要性は、義務教育でも実施すべきと考えます。また、多様性のある人々との接する機会が身近にあると良いと思います。
- 多様性の尊重は、憲法に保障された個々人の権利を守ることである。のみならず、実は人類の存続の核心ともいべきファクターでもある。
- 非常に良いことだと思うが、ハンディーを持つ人と接する場合に「思いやり」と、「甘え」の闘ぎあいで線引きをどこにするのが難しい。
- 差別は世の中から排除しなければならぬが、それぞれの違いで区別することの大事さは常に必要で、この違いを国民が広く理解すべきである。
- 従来の価値観や価値判断だけでは、もはや生きていけないほどの人やものの多様性が存在し、それぞれに配慮した生き方で共栄共存すべきである
- 男女平等均等法下での社会づくりの推進では、個々の人格を尊厳する必要があり、社会づくりでの推進活動では平等の下にも推進活動が重要です。
- よいことだと思いますがそのような社会を作ろうと思ったら啓発ではなく、教育の一環として長い期間をかけて取り組まなければならないと思います
- 一人では、当然この世の中、生きて行けるはずも無し、身障者であろうと無かろうと、誰かの世話にはなっているの、気にしない社会を創るべき！
- 個人を尊重することは重要なことと考えるが、社会がマイノリティに寛大過ぎて、逆にマジョリティの方が不公平になるようだと筋違いと思う。
- 画一化し、自分たちと違った思考や思想、個性等々を排除するのはいかなものかと思う。自分もそうされたいやであるし、いやなことはしないほうが良い。
- 方向性は賛成であるが、少数意見がすべて正しい感の考え方は否定したい。違いや個性を認め合う事は当然なのに殊更に違いを強制する風潮には違和感がある。
- 外国生まれの妻と暮らしているので、生まれも育ちも宗教も異なる人と生活するには、互いに尊重することがとても大切です。人は違って当たり前だと思います。
- お互いの違いや個性等を考えたり、お互いに話し合う事は非常に難しいと感じる。今迄の日本人の教育、考えは「自分」が先ず先、お互いの事にはあまり考えない。

### 男性 70 代以上

- これまで生きにくかった人たちが生き生きと生活できる社会は望ましいと思います。できることには協力していきたいと思っています。
- 良いことだと思いますが、価値観の違う人たちの中に入って活動を行うことは自分の精神衛生上もちこたえられるかどうか疑問が残る。
- 其々の人たちはそれぞれのままで良いと思う。いろいろな考えや姿があって当然だと思う。あまり“べき”の考えは持たない方が良いと思う。
- それは素晴らしい事だと思います。でも、それで生活が成り立てばいいんですが。お互いに協力しないと逆にバラバラになる恐れがあると思います。
- 個性をいかす社会、教育は大切です。画一的な人間作りは、障害者や個性的な人を締め出す結果となる。10 人 10 色でいいのではないのでしょうか。
- とっても良いことだと思う。しかし、職場に例えると性別に関係してくると思うので、いちがいには決められないことも生じてくるのではないかと感じます
- 個人個人で個性（見た目、しゃべる言語、考え方等）は違うのでそれぞれが個性を尊重されればお互いが住みやすい社会になると思う。争いごとなくなる。
- 万人、皆平等の観点から個々人の行動は尊重されるべきであるが日本の国民性は欧米のそれとは大きな違いがあるので、国情に見合ったステップが必要と思う。
- 現在の、虐めの大半が子供の時代に其れなりの教育を受けてないのではと思って居ます。学校教育が画一化されている所為ではないのでしょうか、もっと個性を尊重する教育に舵を切るべきだと思います
- 今はマニュアル化し過ぎている。マニュアルは基礎知識で有って、それが全てであると思っている人が居ると思います。経験をプラスして行くと個性的成ると思います。
- 大いに推進してほしい。できる協力をしたい。このことは日本が活力と未来のある国になるためにどうしても必要で、そのためのベストの方策であると思っている。
- 誰も違いがあるのでそれぞれの個性を引き出しながら進められるようなリーダーがまとめ、コントロールする必要がある。これにより新しい何かが見つかると思う。
- 少子化時代こそ今までの画一的社会では日本の発展は望めないなのでお互いの性別、個性、年齢、外国人等にこだわる事なく色々な事が対処出来る社会作りが必要と思う。
- 人それぞれ顔が違うように、それぞれの個性があるのが当然だと思う。その人その人に合った社会を作ることは社会の強みにもなると思うし、大いに推進するべきである。
- 個性を前面に押し出し、世の中をかき乱している。少数派と思うならその仲間をつるめばよい。日本人は案外と寛容である。世の中目立ちたがりが多くなりすぎと考えている。
- 良いと思う。社会秩序を厳守し活動する範囲内ではどのような表現の自由があっても良いし、またそれが認められるべきである。それによって新しいニーズが生まれ文化が発展していく。
- こういった活動には良いものと悪いものがある様に思う。それらを口実に逆に自分たちで差別や被害妄想を作り出しおかしな主張をし始め、間違った方向へ誘導する者も居る。そこだけは注意したい。

### 女性 20 代以下

- 今の時代に必要な流れだが、まだまだ理解を進めていく必要があるし、新たな問題をどう解決していくか、課題がたくさんあると思う。
- これからは色々な個性を生かしていく社会になっていき、生き生きと一人一人が生きていける社会になると思うのでとてもいいと思います。
- 現在では弱者とされる少数派を支援する取り組みが多いが、多数派の中でも支援を必要とする人間もいるので広い視野で見て判断してほしい
- 自分には難しくてできないと思うこともあるけれど、数年前よりも確実に性別や外見などの個性を認め合える社会になってきていると思う。
- 学校では集団活動における教育を行なっていることが多いため、なかなか簡単には実現できないかもしれないが、そのような活動は良いと思う
- ただ権利を主張するのではなく、皆が自分らしくために生きるにはどんなことが必要なのかを考え、共に協力しあえる仕組み作りが必要だと思う
- どんどん社会に広まって欲しいと思います。個性が個性と認められ、誰も差別をされない、しない、そんな社会になって欲しいと強く願います。
- 今の人達はみんな同じ型にはまらないといけないというような風潮を感じており、もっと個性を尊重していけたらなと思っていたので良いと思う。
- そうでないと経済的に外国に張り合える人材が育たないばかりか、心身共に病む人が多くなり医療費がかかるし日本が弱国になるばかりだとおもう。
- 外国に比べ、日本は個性を生かす働き方や教育が遅れているように感じる。幼少期から様々な考えを尊重する働きかけは非常に意義あることだと思う。
- 今まで否定的に見られていた個性も、理解し合っていくことでどんどん新しい物も生まれていくと思うのでそういった社会づくりに対して賛成します。
- 活動がもっと活発のなって欲しい。日本は多様性を受け入れにくい文化にあるがもっといろんな性格の人・人種・性別の感覚を受け入れていくべきだと思う
- 違う個性の方が、様々な意見が生まれるため、自分では思いつかないような考え方が出来るようになる。自分自身の世界も広がるため、成長に繋がると思う。
- 人それぞれ個性があることは良いことだし、これが正解で、これが不正解というのではないと思うので、推進活動がこれからも広まっていけばいいなと思います。
- 様々な人との関わる機会を増やす仕事をしているとなかなか新しい人と関わる機会がないのでそういう時間を作れるように週休二日をどの職も作れる方がいい
- 価値観がぶつかり合って大変そうだし、主張が激しくなって聞いていて疲れることも増えそうだが、いざ折れ合いが見つくと信じて適度な距離を置いて見守りたい
- 人間、全く同じ人なんて 1 人もいないのだから、良い活動だと思います。また、これらが広がることで個々の個性が生かされて社会全体も豊かになると思います。

## 女性 30代

- 学生や社会人生活において、個性を出すことを履き違えてはいけませんが、意味のない細かすぎる規則に捉われないことも大事だと思う
- 多様性のある社会のアンケートで性別を答えるのが2つしかないのが、おかしいと思う。男性、女性、その他があってもいいと思う。
- 自分の生活が確立されず、生活も苦しい中、他人にかまう余裕がない。むしろ妬む方向にいつている。お互いの尊重までできなさそう。
- いいと思います。性同一性障害の方や同性愛者など差別なくその人たちの個性を尊重できるような世の中に推進する活動は強く願います。
- これからの時代になくってはならないものだと思う。まだまだ十分ではないが、それでも少しずつ活動が広がっていることに希望を感じる。
- とても良いことだと思う。小さい時からそういう教育をしてあげることがありがたい。こどもには偏見を持つ子になってほしくない。
- 個性を尊重することはとても良いことだと思うが、個性というものを履き違えている人が多いので、上手いかないことの方が多いと思う
- 今後も更に必要になってくると思う。子供の頃から多様な生き方についての教育や、様々な考え方の人に接する機会があればいいと思う。
- 形式的でなく、意識の中からお互いを受け入れられる社会をつくる仕組みが必要だと思います。理想論で時間がかかることだとは思いますが。
- とても素晴らしいと思います。世の中には本当に様々な個性や考え方を持つ人がいますが、否定するのも、押し付けるのも良くないと思います。
- まだまだ足りない。もっと女性議員を増やすべき。今の政治はだめ。戦前に戻りたいのかなと思う。政府は口だけ、思想は逆行している気がする。
- 活かしあうことは構わないが、個性を無理に作らせようとしたり、自分の個性を他人に強要することに対する注意も推進しなければならないと思う
- 自由さがあってよいと思う。こうでないといけないと思うと辛くなる時があり、多様性がなければ人それぞれがうまく生きていけないと思うから。
- 様々な人がいるので、困った人がいれば、そっぽを向かず手助けをみんなが親切で思いやりのある気持ちになれば、少しは社会も変わると思う。
- この世の中から、偏見や差別をなくすのは難しいです。けれど色々な考え方、感覚があることを皆で共有し理解を深めていくことは大切だと思います。
- どんどん活動してもらって、社会にはいろいろな人(国籍、宗教、性別、性質、ハンデ、思想など)がいることをお互いが認識して生活できればと思う。
- ある程度の決まりや一定のラインがないと、倫理上社会がおかしくなる可能性があるという事も念頭に、それぞれの個々を重視した社会も大切であと考える

## 女性 40 代

- わざわざ生かしあうとかしなくてもお互い普通に認め合って生活してればいいと思う。ことさら多様性に焦点を合わせるのは違和感。
- 個性を活かし合うことは少数派からすればとてもありがたい事だと思う。それでは多数派からするとどうなのだろうと考えてしまう。
- 人それぞれ、ものの考え方が違うので、何が正しいのかは分からないが、相手の気持ちを理解して、社会を作って行けるといいと思う
- 昔の古き良き日本を大好きな年配の人にもこれからの多様性の時代を知って慣れてもらわないといけないので意義のある活動だと思う
- 人権教育の一環であり、幼少期からしっかり教えるべきだし、理解できないまま成長した大人にも繰り返し啓発する機会を設けるべき。
- もっともっと、うべだけでなく、芯からの心の寄せかたが必要と思う。社会的弱者にいじめがたえない日本が、本当に遅れていると思う
- 個性を強調し過ぎるのとか、お互いの近いや個性を押し付けるのはちょっと…と思うけど、周りが嫌な気持ちにならなければいいと思う。
- 実感としては、メディアの力が、大きいと思います。政府が政策を出し、それを、メディアが、取り上げる、というのが、良いと思います。
- いいことだと思う。自分のことは「普通」だと思っているが、「普通」の定義さえ人によって違う。凝り固まることなく柔軟に生きていきたい
- グローバル社会が当たり前になった現代だからこそ、お互いを尊重する姿勢は、安心安全な社会生活を送る上で不可欠になってきていると思う。
- 相手を理解する上で個性を理解することが大事で、世の中には様々な人がいるけどお互い助け合い理解するように努力することが大事だと思う。
- 多くの昭和生まれの高齢者は、考え方が保守的なので、そういう保守的な考え方を固持する人たちに分かりやすく理解してもらえる方が良いと思う。
- 日本国内が多様な個性や価値観をお互いさまで寛容に認め合えるような社会になれば、多数派と言われる側も暮らしやすくなる部分もあるかと思う。
- 幼稚園、小学校と、個性を尊重する雰囲気が出来上がっているようですが、それ以降の社会とギャップがあり、すぐに社会に同調していくようです。
- 良いと思う！が、大人になるまで、なかなかそのような環境にいなかったらすぐには難しいから幼少期からその様な環境で教育していけばいいと思う
- 昔からは想像も出来ないスピードで世の中の常識が変わっているので法律も柔軟に変えた方がいい。制度や法律で守れる事があれば主張しやすいのでは。
- 今後、外国からの労働者も入ってくるので、違いを理解して尊重し合う意識付けが必要だと思う。理解して尊重し合うまでには、かなり時間がかかると思う。

## 女性 50 代

- お互いの意見を尊重しあうのであればいいと思うが、批判ばかりになるのなら意見も言えない世知辛く住みにくくなるだけだと思う。
- 私は個人的で個人主義的なので活動が広がりや社会が変わることを望んでいますが、自分が積極的に活動することはできていません。
- 新しい時代になり、こういった活動はますます必要になると思うし、お互いの違いや個性を活かしあえる時代になって欲しいと思う。
- 大切なことだと思います。違いや個性の尊重は「おたがい」を分かり合おうとすることであって、どちらかの問題でもないと思えます。
- お互いの考え方の違いや個性を生かすという事は時にぶつかり合う事が起きると思うが、そこを上手く乗り越えるのは難しい事だと思う。
- この活動により、一人ひとりが、世の中にはいろいろな違いや考えがあることを広く知り、視野を広げられるようになったら良いと思う。
- とても良いことだと思う。もっと人々の意識が柔軟になることを望んでいます。が、政府（議員）の理解力の低さには驚くことが多いです
- 違いや個性があるから多様な考えやモノの見方が出来、それを共有し合うことがより良い社会を築くことができる大きなメリットになる。
- 山村で高齢者の多いところに住んでいます。多様性への理解が難しい地域です。行政や企業がまず積極的に取り組んでほしいところです。
- 推進活動には賛成であるが、それぞれの立場を主張するばかりではなく、思いやることも大切で、押しつけにならないことが大事である。
- 良い試みだと思います。そのためにはお互いの違いや個性を認め合うことが前提で、子供のころからの教育がとても大きいと思います。
- やみくもに違うことを強調することが、逆に差別を浮き彫りにしているように思われる。もっと境界線を緩やかにした方が厳しくないと思う。
- すべての人が心からお互いを認め合えるようになるには、幼少期からの教育が重要。大人世代は結局上から目線で活動している人もいると思う。
- 教育はとても必要なことだと思うが、学校教育以前の家庭での親の姿勢が基本だと思う。そのためにも親子という単位での教育も大事だと考える。
- 理解はしているが、まだまだ日本の社会では偏見がぬぐいきれないので難しいとおもう。開けた社会になるには個人の考え方、価値観によるので。
- 違いや個性を活かすことは大切であると思うと同時に、難しいことでもあると思う。日本人には協調性やあいまいさも大切な特長であると思うから。
- 個人個人の考え方、価値観、個性を理解し、尊重し合い、お互いが楽しく暮らしていくことができる社会を作ることは、非常に大切なことだと思う。

## 女性 60 代

- 最近は個人の権利を主張しますが「権利と義務」は一对で有ることをもう一度考えた方が良い。その先に快適な暮らしがあると思う。
- 閉鎖的で横並びを好ましいと考える日本なので、難しいと思う。そのような活動をする人たちですら、非難を受けるような気がする。
- それぞれの個性を生かすのは大変難しいと思いますが良いところを探して認めてあげる事から始めたらきっと成果は出てくると思います
- これこそが真の個性尊重や民主主義だと思う。人はそれぞれ違うのだから。お互いの違いを認めないから紛争、差別に繋がるのだと思う。
- 今の自分が全てでは無く、色々な状況に置かれる可能性が有る事は判っているけれど、現実となると、行動が出来るかどうかは判らない。
- 人はみなそれぞれ考え方、視点は違っている。無理に合わすのはしんどい。善悪だけでもきちんと社会のものさしをもってほしいと思う。
- 大変良いことだと思う。一昔前より柔軟な考え方になって生きやすくなって来た反面、モラルに欠ける事も多くなった様に思え残念です。
- 誰もが傷つかず、笑顔で、皆が心地よくいられる社会が必ずしも正解なのだろうか？違いは違いとして単純に認めたらどうなのか、と思う
- とても難しい問題だと思う。小さいころから、親から受けた考え方がそのまま大人になっても変わらない。それを変えるのが教育だと思う。
- 一人一人の顔が違うように、人は皆同じではない。そのような教を家庭だけではなく、学校でも小さいうちから教えることが大事である。
- 人にはそれぞれ性があるのは当然ですが、自分が人とは違うと言う事をあまり他人に押し付けるのは良くないと思います。行き過ぎはダメ。
- 皆それぞれの違いを尊重するべきで不平等や不自由を感じるような世の中を変えていくことで本来ある姿になると思うのでおおいに賛成である
- 活動することで得られる社会であってはいけない、しかし現実はそうではない、あきらめず理想をもって言い続ける、活動し続けるしかない。
- 普通に生きている人も何かのきっかけで生き辛い立場に立たされる可能性があるのも、特定の人のためでなく全ての人のための活動だと思う。
- 日本は昔から個性がなくみんな一緒、平等をしてきた。今の世の中では通用しないと思う。それぞれが自信を持って自分の個性を出せばよいと思う。
- とても良い事だと思いますが仕事など永くかかわっていく場合は難しい面が出てくるとおわれますので、解決策がなければ混乱してしまうと思います。
- もっと積極的に動けたら良いのに、と思います。少しずつ変化していると感じられる部分も有りますが、根本的な意識改革を必要とする事柄がほとんどです。

### 女性 70 代以上

- 私たちの世代では色々な差別がありました、子供の世代でやっと個性を尊重する教育を見せてもらいたいものだと思います。
- 日本は多様性を認めにくい社会だと思うので、お互いの違い、個性を活かしあう社会を実現するための活動として大いに期待したい。
- この世はいろいろな人がいるのは当たり前で、それぞれの個性を尊重するのは自然なことと思う。他人の個性をあこれ言う権利はない。
- そのような社会は、誰か強烈なリーダーシップを持つ人がいてこそ実現しやすい。日本人はどうしても集団を好む傾向があると思うから。
- 若い頃は何も考えませんでした、今の時代は多様性が必要だと思います。理解しあえるようにいろいろな人と交流できたらと思います。
- 総合的に判断すればこれからは、日本人はもっと柔軟な心を持ち個性を大事にする社会を作っていないかと先進国として恥ずかしいと思う。
- 偏見のない社会を作るためには教育や世の中にもっと、多くの呼びかけが必要だと思う、個性を大切に世の中に早くなれば、いいと思う。
- とても良い事だが今の時代、極端に取り扱い過ぎて、特別を特別視しない事を最良とする向きが有る。それも問題ではないかと思うが。
- 昔と違いいろいろな考え、性差別など無くなりつつあるので、自由な発言は良いことだと思うが、思い違いで人を傷つけることも増えたと思う。
- 良い事だと思う。一番大切なのは、能力だけでなく個性を引き出すこととその人の人間性を認め合って仲良く譲り合い協力しあうことだと思う。
- あらゆる人が、その人自身として、かけがえのない一人の存在として尊重される社会の実現に向けて積極的に推進していかなければならないと思う
- とてもいいことだと思います。人はそれぞれに個性を持っているし、違いがあるのは当然でそれを認め合うことも大切であり活動も必要と思います
- 個性を尊重され、相手の個性も認めるのは当たり前だと思います。だが、現在のところ行きすぎて、自分を主張するのみになっていると思います。
- 人間はみなお互いに違いがあるのが当然なので、夫々の個性を認め合って多様な社会を作る事が、誰にとっても過ごし易い世の中となる筈である。
- 大いに賛同しますが、日本ではこのような風潮の歴史が乏しいように思われるのであまり効果は期待できない。幼少期からの躰や教育にあると思う。
- どんな人であれ私はそれぞれ社会に役に立つものを必ず持っているかと確信しているから、お互いそれらを認め合って生きればいいのではないかと強く思う。
- お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりは大事なことだと思いますが、お互いにいかに協調性を保っていけるかという事が大事なことのように思います。



## 付録：調査票

### 「多様性のある社会づくりのための基礎調査」ご協力をお願い

NPO 法人 GEWEL（ジュエル）では、日本全国にお住いの方々を対象に、下記のアンケート調査を行うことになりました。

- ◆ 調査名称：「多様性のある社会づくりのための基礎調査」（港区男女平等参画センター：リーブラ助成事業）
- ◆ 調査方法：インターネットによるオンライン調査と質問紙調査（いずれも同じ内容）
- ◆ 調査期間：令和元年6月20日（木）～8月20日（火）

この調査は、多様性に関するあなたの理解、考え、経験などをお伺いし、より良い社会づくりのための基礎資料を作成することを目的としています。ご回答いただいた内容は、「〇〇と答えた人は全体の60%」というように、数字としてまとめるため、個人が特定される心配はございません。

**回答時間の目安は約5分～10分、ご回答は任意（謝礼なし）**となります。

ご協力をよろしくお願いいたします。

本調査は、インターネットを活用したオンライン調査フォームも用意しています。  
パソコンやスマートフォンから以下にアクセスしていただき、ご回答いただくことも可能です。

<https://questant.jp/q/MDIG2019>



【調査実施機関】NPO 法人 GEWEL 担当：川崎

ホームページ：http://www.gewel.org

調査に関するお問い合わせ：https://questant.jp/q/MDIG2019

（お問い合わせフォームをご利用ください）

**Q1.** あなたは、以下の用語をどの程度知っていますか。それぞれ番号に1つずつ○を付けてください。

項目（用語）	選択肢	用語の意味を説明できる	用語の意味を何となく理解している	用語を見聞きしたことはあるが、意味はよくわからない	まったく知らない
例．用語（あなたが知っている程度の番号を右から1つ選ぶ）		1	2	③	4
1. ダイバーシティ		1	2	3	4
2. インクルージョン		1	2	3	4
3. D&I		1	2	3	4
4. SDGs		1	2	3	4
5. SOGI		1	2	3	4
6. LGBT		1	2	3	4
7. ユニバーサルデザイン		1	2	3	4
8. インクルーシブ教育		1	2	3	4
9. ポジティブ・アクション		1	2	3	4
10. クォータ制		1	2	3	4

**次のページにつづく** ▶

**Q2.** 以下の項目について、あなた自身の考えや経験に**当てはまる程度に1つずつ**○を付けてください。

項目	選択肢						
	とても当てはまる	当てはまる	やや当てはまる	どちらとも言いえない	あまり当てはまらない	当てはまらない	まったく当てはまらない
1. 私には、外国籍の親しい友人がいる	1	2	3	4	5	6	7
2. 私には、さまざまな世代の親しい友人がいる	1	2	3	4	5	6	7
3. 私は、心身に障がいのある人と一緒に教育を受けたり、働いたことがある	1	2	3	4	5	6	7
4. 私は、性的少数者*からカミングアウト（その人自身がそうであると公言）されるほうである *たとえば、同性が好きな人や自分の性に違和感を覚える人など	1	2	3	4	5	6	7
5. 私は今までに、ダイバーシティ研修のような教育を受けたことがある	1	2	3	4	5	6	7
6. 家庭、学校、職場、地域社会など、どの場においても私の個性は尊重されている	1	2	3	4	5	6	7
7. 性別や学歴、障がいのある・なし等によって、私が偏見をもち、誰かを差別することはない	1	2	3	4	5	6	7
8. 私は、男性が外で働き、女性が家庭を守るほうが、社会がうまく回ると思う	1	2	3	4	5	6	7
9. 私は、多様性より従来の画一性を重視する教育のほうが日本人には合うと思う	1	2	3	4	5	6	7
10. お互いの違いや個性を活かす社会づくりに、私なりに取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7

**次のページにつづく** ▶

**Q3.** あなたは、お互いの違いや個性を活かしあう社会づくりの推進活動をどのように思いますか。  
あなたの考えをご自由にお書きください。

最後に、**あなた自身のことについて**お答えください。

それぞれの項目に対し、あなたに当てはまる番号を1つずつ選び○を付けてください。

性別：	1. 男性      2. 女性      3. その他（                      ）
年代：	1. 10代      2. 20代      3. 30代      4. 40代 5. 50代      6. 60代      7. 70代以上
婚姻状況：	1. 結婚していない（未婚・離死別も含む） 2. 結婚している
職業分類：	1. 会社員・役員    2. 自営業    3. 専門職    4. 公務員 5. 学生            6. 専業主婦・専業主夫    7. パート・アルバイト 8. 無職・定年退職            9. その他（                      ）
都道府県：	←お住いの都道府県をお書きください
港区在住・在勤：	1. 港区在勤（在学）かつ在住である 2. 港区在勤（在学）である 3. 港区在住である 4. 勤務（通学）先と住まいは港区以外である

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※ご回答済みの調査票は、調査実施会場スタッフが指示する場所に提出または投函をお願いいたします。

調査データの使用に関するお問い合わせ等、下記にご連絡ください。

**NPO 法人 GEWEL**

〒141-0001 東京都品川区北品川 5-5-15

大崎ブライツコア 4 階 SHIP

URL: <http://www.gewel.org>

E-mail: [office@gewel.org](mailto:office@gewel.org)